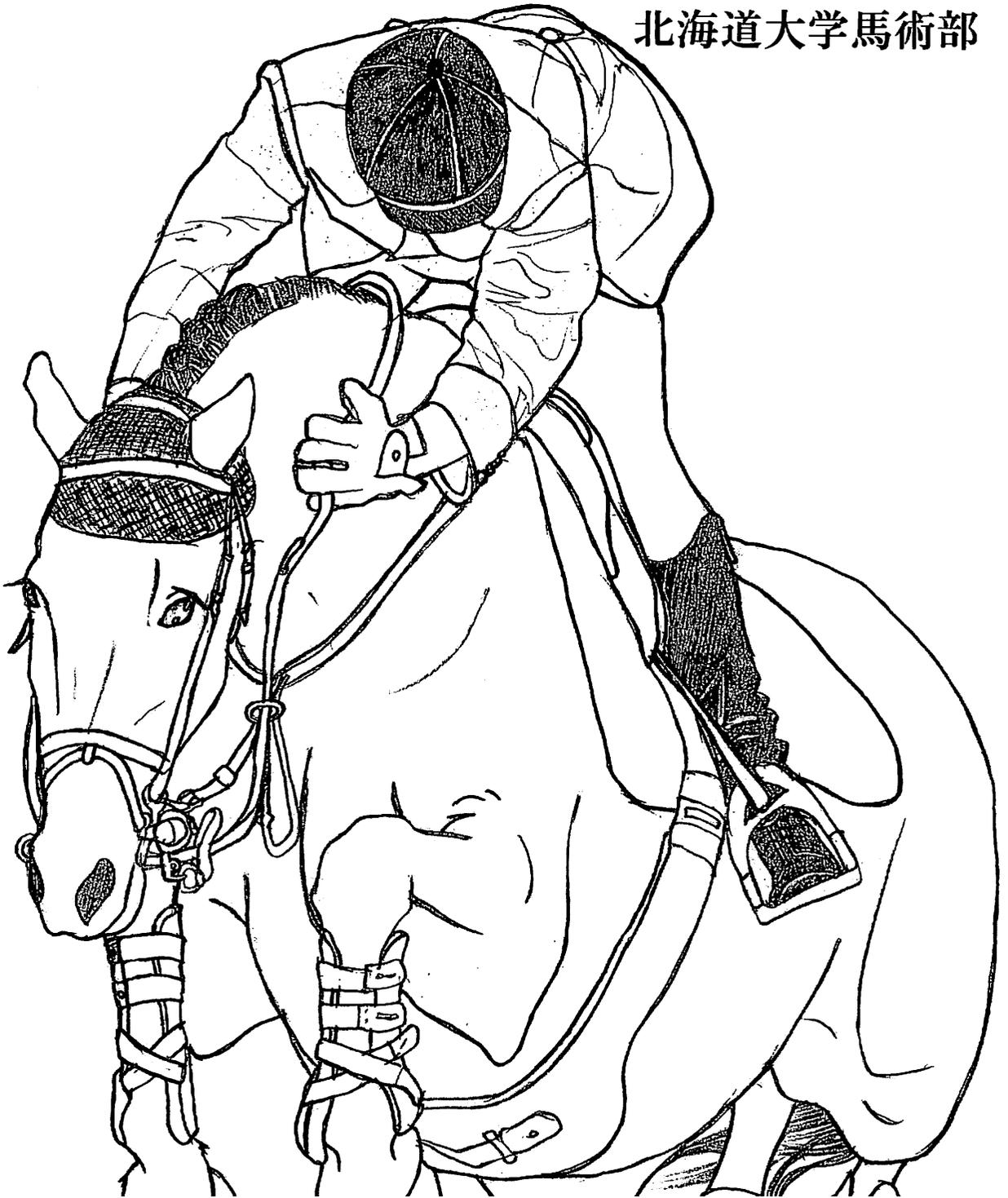


部 報

平成16年度 No.50

北海道大学馬術部



馬術部賛歌

滝沢南海雄君作曲

♩ 80



馬術部賛歌

(昭和三十五年頃)

三浦清一郎君作歌

一

春来たれば 大地光る
銀の遠山 夢花々たり
高らかに 今ぞ嘶け！
われら駿馬のはまれあり

二

時来たれば 旗をかざせ
青雲の旅路に 意気軒昂たり
高らかに 今ぞ嘶け！
われら駿馬のはまれあり

三

雲流れて 旅路遙か
青春の孤杖 泥濘はばめど
凜然と 進みて行かむ
駿馬のはまれあるかぎり

北大！ 北大！ お、我が母校
われら駿馬のはまれあり

目次

巻頭書 一部長一年目の感想—	井上 京	2
前主将より	前野 伸策	4
会計報告	一色 真明	5
活動報告		6
戦績報告		10
調教報告		
北凌号	馬場 絃子	22
北旋風号	利根川 正明	25
北鳳号	前野 伸策	27
北替号	一色 真明	29
エルグレイ号	前田 晋也	32
北翔号	前野 伸策	34
シーベスト号	前田 晋也	36
パワフルショット号	木村 滋之	38
入厩報告		
イクスカーション号	久保 裕道	41
ウインジーニアス号	利根川 正明	41
離厩報告		
サラマンダー号 (調教報告)	林 宣隆	42
OB寄稿		
東京OB会について	東京OB会会長 樋口 正明	44
群馬にて大騒ぎしました	北馬37年同期会	45
思いつくまま	鎌田 正人	51
部報から学んだこと	中田 一紀	53
北大水産学部馬術部活動報告		58
卒部にあたって		60
部員紹介		64
OB名簿		70
現役部員名簿		80
広告		81
編集後記		84

部長一年目の感想

部長 井上 京

この原稿を書いている今年 2005 年の春は、雪解けが例年になく遅れている。4 月ももうすぐなかばだというのに馬場の大半は雪に覆われたままだし、雪やみぞれに見舞われる日さえある。あと数週間で半沢杯だというのに、馬の準備、障害や馬場の手入れ、間に合うのだろうか心配になる。新入生が馬場を訪れる季節だけれど、こんなに寒いと出足にも影響するだろう。いろいろ心配はあるけれど、春の来ない年はない。遅かれ早かれ、いずれ風薫る新緑の季節が訪れる。いつにもまして、この春はそんな日の訪れを心待ちにしている。

馬術部長を市川先生より引き継ぎ、ちょうど一年となった。良くも悪くも、馬術部には馬術部の伝統があることを感じさせられた一年であった。部長一年生としての感想を、率直に記しておきたい。

1. 馬が穏やかになった。かつては「どう猛」とか「じゃじゃ馬」という表現がびつたり、ただこれは馬にとっては不幸な体験を積んできたからにはほかならないのだけれど、そんなくせのある馬が何頭かいたものだ。いまはどの馬もやさしく穏やかである。人と馬の良い関係が、築きやすくなっているように思う。生産・育成の面で日本の馬を取り巻く社会が格段に進歩したのだろう。ただ、馬が扱いやすくなった反面、現役諸君は馬の世界を深く知る機会を、昔にくらべれば少し失っているかもしれない。くせのある馬が良いわけでは決してない。ただ馬という生き物に対する深い理解は、今も変わらず大事である。

2. 馬術や馬そのものに対するいろいろな情報があり、知識も豊富になった。が、それらは馬の調教や管理に、合理的に使われているだろうか。断片的な知識の集合にすぎないのではないだろうか。たとえば下級生の指導について、部としての体系だった規範なり、トレーニング方法はあるのだろうか。またそれは合理的なものになっているだろうか。あるいは馬の運動の組み立て、調教の進め方にしてもしかり。

3. 馬の運動量について。これは私が自分の感覚で言っていることであって、正確な判断ではない。誰かに科学的に判定してもらいたいものだが、馬の運動量が足りなくはないか？あるいは激しいときとそうでないときの差が大きすぎないか。試合前と試合後、夏と冬。確かに今は外乗もままならず、とりわけ冬は雪に閉ざされた馬場で運動せざるを得ない。

いろいろな制約はあるが、馬の体をつくるための運動の組み立てを計画的にしているだろうか。

4. 部の運営は、いつの時代も大変だ。馬の管理と調教，練習，試合にクラブバイトに大会の主管事務，等々，ありとあらゆることを，そつなく，うまくこなしていかなければならない（それに本来の学業である。昔と違って，いまは大学のカリキュラムがみっちり組まれているし，単位の認定も厳密だ。ホトケの先生もそうはいない）。私が会社の人事担当者なら，間違いなく体育会馬術部の皆さんを率先して採用しよう。みんなそれなりの経験を，クラブ活動をとおして身につけているように思う。少ない人数で本当によくやっていると。ただ，疲れてはいけな。いつもフレッシュで前向きの気持ちを忘れないように。悲観せず，楽天的に。疲れ果てたときにはリフレッシュも必要だ。

5. 部の運営についても一言。盲目的に前任者のやり方を踏襲していないか？あるいは独りよがりになっていないか？自分のやっていることを見つめ直すゆとりはあるか？特に部の活動に直接的に影響する会計の状況を，みんなよく把握しているか？

部員の気風は，今も昔もさほどに変わっていない，というのが，一年経っての正直な感想です。自分たちで馬を養い，育て，部を運営するという北大馬術部の伝統が息づいているからだと思います。裏を返せば，現役諸君は，ここに相集う人と馬に互いにおおいに育てられている。このことに馬術部というクラブの大きな意義があると私は思っているのですが，どうでしょうか。

(2005. 4. 10)

【前主将より】

前野 伸策

今年は二走・総合団体出場という目標は果たせませんでした。北日学の二走で優勝することができました。来年からもこれに満足せずさらに前に進んでもらいたいと思います。

来年は部員数が少ないとか運営費の問題などで本当に大変だと思いますが、上級生は下級生を、下級生は上級生を信頼して部がまとまってがんばってほしいと思います。

最後に馬術部にかかわり支えてくださいました関係者の皆さんには本当に感謝しています。ありがとうございました。

モモセライディングファーム

札幌市清田区美しが丘3条3丁目

TEL 881-0470

会計報告 2004年1月～12月

収入

部費	465,000
JRA開催	1,735,482
モモセ	402,740
道馬連バイト	192,000
道新選挙バイト	185,060
獣医バイト	119,500
道庁バイト	110,250
セレクトセール	72,000
道馬連合宿バイト	30,000
エルドラランチバイト	22,500
大会運営	2,010,430
学馬連補助	927,000
体育会強化費、助成金	594,797
その他バイト	107,500
寄付	143,991
計	7,118,250

支出

ビデオ・カメラ	119,727
薬品	496,866
電話	71,685
装蹄	692,310
馬匹	30,270
交通	988,644
車輛	2,197,701
馬備	42,044
半澤杯運営	146,459
道大会エントリー・運営	1,028,300
企画	116,621
飼糧	1,542,231
作業	60,590
後援会	194,522
記録	3,049
衛生	28,901
雑費	74,610
計	7,834,530

【主将】

前田 晋也

現在の部の状況をお知らせします。現在部員は13人（上から4、4、5人）で10頭の馬を繁養しており、二走・総合で全日学団体出場することを目標に取り組んでいます。

昨年は二走で団体、総合も1頭出場する事ができましたが、結果は散々なものでした。様々な理由が考えられますが、人の技術不足・意識不足が主な理由であったのではないかと思います。その反省をふまえ今シーズンは少しでも成績を残せるよう、そして次の権利を狙う新馬の育成、下級生の技術向上が上手く行われるよう、日々やっつけていこうと思います。しかし、現状では課題も多くすべてが順調に進んでいるとは言い切れません。

・故障馬が多く練習が十分に行われない

現在故障を抱えている馬が多く、通常の練習に使えない馬も多いのが現状です。これは慢性的な故障を抱える高齢馬が多いこともありますが、基本的には運動管理責任者であるチーフの管理能力不足以外の何物でもありません。馬術部の馬である以上日々の練習に参加できてこそだと思います。チーフの意識向上とともに、部員全体で自分達の馬を故障から守ることが必要ではないかと思います。

【副将】

林 宣隆

今の北大馬術部の最大の問題点は人不足である。しかし、これは北大だけでなく他大学でも大きな問題となっている。時代の流れ、体育会離れは顕著であり興味はあっても長い拘束時間を嫌う学生も少なくない。また馬術部に入ると留年するという噂が新入生の入部を迷わせる一因となっているのも事実であるようだ。この現状を競争力を維持しながら解決してゆくの今後の課題であると思う。過去のやり方に縛られず、個人の負担を減らしそれでいて高いレベルを維持していくのは非常に難しいことであるが、今の時代に順応した馬術部に変わらなければならない時期にきていると強く思う。

目標は今年も変わらない。人数は少ないながらも去年のようにチーム一丸となって全日へ団体で行くことだ。

【主務】

小阪 梨奈

主務の仕事は、施設に関する学校との連絡、日馬連・学馬連への登録などの事務、大会運営である。

施設に関しては問題があると大学側が対応してくれる。また、事務に関しても特に問題もない。大会運営は部員数の減少に伴い年々厳しくなっているのが現状である。今のままでは部員にとって大会が大きな負担となってしまうので、急には無理だが徐々に改善していかななくてはならないと思う。

【馬匹】

日野 恵介

昨年は残念ながら9月～10月の間に跛行をする馬が続出してしまい、部員数14名、馬数10頭（うち2頭が新馬）にも関わらず、鞍数が足らず、どうしても自由練習にせざるを得ない状況が続いてしまいました。特に北旋風号に至っては、全日での権利がいただけたにもかかわらず、辞退するを得ない状況になってしまいました。これは、各馬のチーフの運動管理の不足というだけの問題ではなく、やはり部員全員の体調管理への認識不足とともに、積極的にチーフ間での運動に対しての意見交換を行わなかった上級生の責任であったと思います。

また、これら跛行の件とともに、年末に北翔号が40℃超という高熱を出した時など、札幌近郊に住んでいらっしゃる武井兄、大崎兄、またノーザンで働いていらっしゃる川崎兄をはじめとする多くのOBの方々にお世話になりました。この場を借りて御礼申し上げますと共に、これからもご指導御鞭撻の程をよろしくお願いいたします。

馬術部の最終の目標は北日ひいては全日学での活躍であり、そのためには各人馬がベストコンディションで臨む事が前提であると考えます。そのためにも、部員一人一人が全体を見渡せる雰囲気を作れるよう、より一層努力していく所存でございます。

【飼料】

林 宣隆

今年度の飼料報告をします。まず馬に与えている飼料内容についてです。現在馬に与えている主な飼料は燕麦、ふすま、ヘイキューブ、並塩、パワーサプリ25の五種類です。運動をした馬には燕麦約1kg、ふすま約0.3kg、ヘイキューブ約0.6kg、パワーサプリ25約0.1kgを朝昼夕に与え、並塩を大匙2杯朝夕に与えています。またこれらの飼料はお湯でふやかして与えています。乾草は各馬約1.5kgを一日4回、朝昼夕夜に与えています。これらの飼料は明治飼糧から購入しています。乾草や燕麦は畜大OBの長岡さんからバイト代としていただく他、山本ファームから購入しています。

次にポロ山の回収についてですが、昨年度まで上田農園さんや野崎さんに肥料として回収していただきましたが、今年度からは北大農場にすべて引き取ってもらうことになりました。

来年度も、部外の方々への感謝の気持ちを忘れずに取り組んでいきたいと思いをします。

【後援会】

一色 真明

北大馬術部のOBの方は全国各地に散らばっておられ、すべてに方々と交流を持つのは容易なことではありません。しかし、年4回のコンパや初乗り・OB戦、戦績や部報、を通じて少しでも多くの方と交流していきたいと思っています。また、平成6年卒の倉本さんが開設してくださっている「北海道大学馬術部後援会」のホームページ(<http://www4.big.or.jp/~nono/hokudai/>)や北大馬術部のEメール(hokudaibajutubu@hotmail.com)などを通じて普段お会いできない遠くにお住まいの方とも交流し続けていきたいと思っています。掲示板では競技会戦績も速報として見ることができ、現役のほうからも積極的に書き込みをしていこうと思うので、OBの皆様も是非掲示板にご参加ください。

一昨年より郵送の代わりにEメールによるご連絡を始めました。これは経費削減にもなっています。新たにEメールでのご連絡を希望される方はお知らせ下さい。

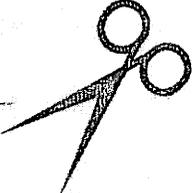
札幌へ起こしの際は是非、馬術部の方へお立ち寄り下さい。

【会計】

一色 真明

今年は、部員の減少にともない部費の収入およびJRA開催の労働時間削減などアルバイト量が減少したために収入の減少と、北日学が福島で行われたことによる輸送費の増加により大幅な赤字となってしまいました。アルバイト先からいただいていた乾草も少なくなり、不足分を業者から購入している状況で、来年以降は更にその傾向が強くなることも考えられます。また、馬運者の老朽化が進み、修理費も年々大きくなってきました。早急な新しい馬運者の購入は必須だと思われます。

少しでも会計状況を改善するためには、新たなアルバイトを増やし、出費を必要最低限に抑えることが重要と考えます。しかし体育会離れが進む近年では部員の大幅増加は見込めず、学問との両立も考え、現役の負担が大きくなっていくのが現状です。部員の会計状況に対する意識を高めると共に、是非ともOBの皆様のご理解とご支援を賜りたく思います。



**CAMPUS
MEMBER'S
CARD**

カッ ト イ ン ト ラ イ
北区北23条西5丁目 山本ビル2F(1階レンタルビデオ店)
☎011-747-1088

毎月10日、20日は

ヘアーカラー50%OFF

平日10日20日に御来店頂いた場合

大学生カット(シャンプー・トリートメント込み)

+

ヘアカラー

¥3200+¥1500=¥4700

消費税は含まれておりません

●学生平日会員証の特典●

カット料金……………通常料金の**10%OFF**
(お友達をご紹介いただきますと、さらに10%OFF)

カラー&パーマ……………**10%OFF**

※この会員証は平日(土・日・祝祭日は除く)のみご利用できます。
※ご来店の際には必ずこのカードをご持参下さい。
●営業時間/平日:AM10:~PM8:00
●定休日/火曜日(第三月・火運休)

戦績結果

●対東北大学定期対抗戦(於 東北大学 4月1日)

参加選手 林(2) 久保(2) 関田(2)
 優勝 北海道大学
 準優勝 東北大学

●第43回国立七大学総合体育大会馬術競技会(於 北海道大学 4月17,18日)

参加選手 馬場(4) 前野(4) 一色(2) 利根川(3)
 優勝 東京大学
 準優勝 京都大学
 3位 九州大学
 5位 北海道大学
 最優秀選手 石井 東京大学
 優秀選手 川口 京都大学
 河野 九州大学

●第32回半澤杯記念馬術大会(於 北海道大学 5月3,4日)

☆一般馬場馬術第2課目競技(市川杯) 得点率
 1位 前田 シーベスト 北大(3) 52.90
 2位 松本 エリモウイングダム 酪農学園大学 48.40
 3位 西本 ユーフォー 酪農学園大学 48.20

☆一般馬場馬術第3課目(斉藤杯) 得点率
 1位 日野 サラマンダー 北大(3) 53.50
 2位 小野 リッチステート 乗馬倶楽部メインフィールズ 47.20

☆複合馬術競技(太秦杯) 馬場減点
 1位 梁川 ウメシキ 酪農学園大学 74
 2位 梁川 イチフジコンドル 酪農学園大学 80
 3位 清宮 エベレストクライマ 酪農学園大学 80
 7位 利根川 北旋風 北大(3) 89
 9位 馬場 北凌 北大(4) 76
 10位 一色 北替 北大(2) 78
 16位 前野 北鳳 北大(4) 78
 open 前田 エルグレイ 北大(3)

☆クロスハ-障害飛越競技 基準タイム64sec
 1位 太田 マイネルデインブル 札幌競馬場乗馬スポーツ少年団
 2位 藤倉 咲良 酪農学園大学
 3位 雄谷 フォーダレス 札幌競馬場乗馬スポーツ少年団
 open 木村 パワフルショット H16卒

☆障害飛越競技100cmクラス(河田杯)
 1位 渡辺 ユーフォー 酪農学園大学 J.O.
 2位 松浦 ウインゼニス 酪農学園大学 J.O.
 3位 伊藤 ユウハク 酪農学園大学 J.O.
 4位 前野 北翔 北大(4) 障害減点4

★障害飛越競技90cmクラス(小池杯)				タイム
1位	小野	ラインハート	乗馬倶楽部メインフィールズ	62.12
2位	堂下	キティーホーク	乗馬倶楽部メインフィールズ	63.86
3位	木村	パワフルショット	H16卒	72.01
4位	前田	シーベスト	北大(3)	76.82
5位	林	北旋風	北大(2)	77.73
9位	坂井	北凌	北大(2)	84.65

★障害飛越競技70cmクラス				タイム
1位	久保	北風	北大(2)	71.12
2位	杉山	緑進	酪農学園大学	68.80
3位	高橋	ヤマノファントム	酪農学園大学	77.27

●三大学定期戦(5月9日)

参加選手	久保(2)	坂井(2)	林(2)
優勝	酪農学園大学		
準優勝	北海道大学		
3位	帯広畜産大学		

●第18回北海道新緑馬術大会(於 ノーザンホースパーク 5月21~23日)

★一般ツースター総合馬術馬場馬術競技A(1)				得点率
1位	百瀬	ヘイアンベガサス	モモセイディングファーム	56.70
2位	木村	パワフルショット	H16卒	51.10
3位	勝野	咲良	酪農学園大学	51.10

★標準中障害飛越競技D110(一般の部)				J. O. タイム
1位	小野	ファンキーバブル	乗馬倶楽部メインフィールズ	34.57
2位	方釈	ユーフォー	酪農学園大学	35.48
3位	小野	ブランドダンス	乗馬倶楽部メインフィールズ	38.16
8位	前野	北翔	北大(4)	55.05
9位	利根川	北旋風	北大(3)	減点4 タイム74, 59
20位	一色	北彗	北大(2)	減点8 タイム97, 01

★一般標準中障害飛越競技C120				J.O.タイム
1位	阿部	プリンスファイター	ノーザンホースパーク	29.84
2位	川北	ワトキンス	ノーザンホースパーク	32.18
3位	梁川	リーダーズ	酪農学園大学	32.54
7位	前田	エルグレイ	北大(3)	減点4 タイム76, 47

★標準小障害飛越競技A100(一般の部)				J.O.タイム
1位	河合	柏朱鷄	帯広畜産大学	34.63
2位	森	柏嶺	帯広畜産大学	37.84
3位	中西	柏海	帯広畜産大学	40.26
6位	林	サラマンダー	北大(2)	減点4 タイム72, 88
11位	日野	サラマンダー	北大(3)	減点6 タイム90, 90
2反E	前田	シーベスト	北大(3)	

★新馬障害飛越競技90A				減点	タイム	タイム
1位	近藤	ケイスⅢ	コンドウファームライディングジール	5	96.64	
2位	木村	パワフルショット	H16卒	4	69.33	
3位	住川	マジロジャンセン	北星乗馬クラブ	4	79.75	

★初心者障害飛越競技L70A				タイム
1位	有藤	サブロウ	十勝柏友会乗馬クラブ	79.27
2位	坂井	シーベスト	北大(2)	76.16
3位	佐竹	メイシャ	ライディングヒルズ静内	72.32

★一般第2課目馬場馬術競技B				得点率
1位	下山	柏鯨	帯広畜産大学	51.60
2位	猪狩	北凌	北大(2)	47.80
3位	久保	北旋風	北大(2)	43.70

★一般第3課目馬場馬術競技				得点率
1位	荒井	アレジャホン	ノーザンホースパーク	48.50
2位	小阪	サラマンダー	北大(3)	47.70

★一般ツースター総合馬場馬術競技A(2)				得点率
1位	藤本	ヤマノファントム	酪農学園大学	53.90
2位	広瀬	柏爵	帯広畜産大学	52.30
3位	河合	柏朱鷺	帯広畜産大学	51.60
4位	一色	北替	北大(2)	51.30
8位	利根川	北旋風	北大(3)	40.70

★スピードアンドハンディネス中障害飛越競技D105(一般の部)				成績時間
1位	小野	ファンキーバブル	乗馬倶楽部メインフィールズ	73.69
2位	小野	ブランドダンス	乗馬倶楽部メインフィールズ	78.58
3位	高橋	ウメシキ	酪農学園大学	82.64
12位	馬場	北凌	北大(4)	119.17

★新馬障害飛越競技90B				タイム	獲得賞金
1位	村上	シンコユカ	札幌乗馬倶楽部	80.81	¥22,500
2位	木村	パワーフルショット	H16卒	70.52	¥22,500
3位	川北	イースタートラネージュ	ノーザンホースパーク	82.17	¥22,500

●第39回北海道春季馬術大会(於 ノーザンホースパーク 6月18日~20日)

★一般第2課目馬場馬術競技				得点率
1位	春田	コパノコール	モモセライディングファーム	59.40
2位	本田	クルーク	モモセライディングファーム	57.30
3位	久保	シーベスト	北大(2)	55.60

★一般第3課目馬場馬術競技				得点率
1位	星野	エルトール	星野ライディングクラブ	60.60
2位	星野	グリュネバルト	星野ライディングクラブ	59.40
3位	若林	エルトール	星野ライディングクラブ	51.20
11位	日野	パワーフルショット	北大(3)	35.20

★一般ツースター総合馬場馬術競技 A班				得点率
1位	馬場	北凌	北大(4)	51.70
2位	勝野	咲良	酪農学園大学	51.10
3位	瀬戸	ヤマノファントム	酪農学園大学	50.90
5位	一色	北替	北大(2)	48.70
8位	前田	シーベスト	北大(3)	44.90

★標準中障害飛越競技D110				減点	J.O.タイム
1位	緒方	ルベリエ	ライディングファーム・フセ	0	46.43
2位	村上	パンクキンハイ	札幌乗馬倶楽部	0	49.55
3位	一色	北彗	北大(2)	0	50.35
	馬場	北凌	北大(4)	2反E	
★一般中障害飛越競技C120				減点	J.O.タイム
1位	楠木	ダイナダイ	ノーザンホースパーク	0	32.27
2位	木村	ジャック	ライディングファーム・フセ	0	38.12
3位	岸本	パインツアー	JRA日高育成牧場	0	41.71
5位	前野	北翔	北大(4)	4	
	利根川	北旋風	北大(3)	2反E	
★一般中障害飛越競技B130				減点	
1位	前田	エルグレイ	北大(3)	0	
2位	広瀬	柏嶺	帯広畜産大学	4	
3位	梁川	リーダーズ	酪農学園大学	8	
★一般新馬障害飛越競技95A				減点	獲得賞金
1位	川北	アドマイヤカイザー	ノーザンホースパーク	0	¥45,000
2位	村上	シンコーユタカ	北星乗馬クラブ	4	
3位	近藤	ケイスⅢ	コントウファーム・ライディングジール	6	
4位	木村	ハワフルショット	H16卒	13	
★新馬調教障害飛越競技L70A				タイム	減点
1位	緒方	ミナミゴージャス	ライディングファーム・フセ	85.06	0
2位	富山	ロクキャビン	帯広畜産大学	91.02	0
3位	鈴木	テリーブラック	モモセライディングファーム	73.88	4
	日野	ハワフルショット	北大(3)	2反E	
★再調教新馬障害飛越競技L70A				タイム	
1位	小野	リッチステイト	乗馬クラブメインフィールズ	74.56	
2位	木村	ハワフルショット	H16卒	63.88	
★一般ツースター総合馬場馬術競技 B班				得点率	
1位	方釈	ユーフォー	酪農学園大学	55.47	
2位	河合	柏朱鷄	帯広畜産大学	55.47	
3位	松田	零	帯広畜産大学	54.99	
4位	林	サラマンダー	北大(2)	48.13	
6位	利根川	北旋風	北大(3)	42.67	
★スピードアンドハンデネス中障害飛越競技D105				総タイム	
1位	村上	パンクキンハイ	札幌乗馬クラブ	70.50	
2位	樋口	ブラックジーンズ	酪農学園大学	79.88	
3位	相田	モンテヴェルデ	モモセライディングファーム	80.71	
	馬場	北凌	北大(4)	経路E	
★一般スピードアンドハンデネス中障害飛越競技C115				総タイム	
1位	木村	ジャック	ライディングファーム・フセ	66.84	
2位	楠木	ダイナダイ	乗馬クラブメインフィールズ	70.67	
3位	下田	トカチアトラス	十勝柏友会乗馬クラブ	79.22	
8位	前野	北翔	北大(4)	91.57	
9位	一色	北彗	北大(2)	97.45	
12位	利根川	北旋風	北大(3)	114.78	

☆標準小障害飛越競技A100				減点	J.Oタイム
1位	玉井	柏嶺	帯広畜産大学	0	48.52
2位	大林	ファントリロハリー	札幌競馬場	0	49.75
3位	富橋	ブラックジーンズ	酪農学園大学	0	52.27
7位	林	サラマンダー	北大(2)	12	
	前田	シーベスト	北大(3)	2反E	

☆新馬障害飛越競技95B			獲得賞金
	川北	アドマイヤカイザー	¥22,500
	木村	パワフルショット	¥22,500

☆第76回北日本学生馬術選手権大会(於 ノーザンホースパーク 7月9日)

参加選手	日野(3)	前田(3)		得点率
☆一回戦				
1位	萬		東北学院大学	56.2
2位	日野	イテム	北大(3)	50.0
3位	阿部		岩手大学	49.2

☆一回戦				得点率
1位	梁川		酪農学園大学	55.8
2位	原田	プリンスファイター	弘前大学	50.3
3位	前田		北大(3)	45.9

☆準決勝				得点率
1位	萬		東北学院大学	55.9
2位	樋口	サンダンス	酪農学園大学	48.8
3位	福中		帯広畜産大学	46.8
4位	日野		北大(3)	37.2

☆第40回北日本学生馬術女子選手権(於 ノーザンホースパーク 7月9日)

参加選手	馬場(4)	小阪(3)		得点率
☆一回戦				
1位	勝野		酪農学園大学	55.2
2位	馬場	ホワイトブーツ	北大(4)	53.0
3位	菊地		東北学院大学	48.0
4位	小阪		北大(3)	45.0

☆準決勝				得点率
1位	渡辺		酪農学園大学	50.9
2位	勝野	アレジャホン	酪農学園大学	46.9
3位	金井		帯広畜産大学	46.0
4位	馬場		北大	45.7

●第29回北海道馬術大会(於 ノーザンホースパーク 7月16日～18日)

☆一般標準小障害飛越競技C120				総減点
1位	岩坪	モンテウエルテ	モモセライディングファーム	0
2位	堀	サントロベッツ	JRA日高育成牧場	4
3位	阿部	トウクリーク	ノーザンホースパーク	4
15位	一色	北替	北大(2)	13

☆一般標準中障害飛越競技B130				総減点	J.O.タイム
1位	梁川	リーダース	酪農学園大学	0	
2位	川北	ワキンス	ノーザンホースパーク	0	棄権
3位	大林	ダイナミックバード	JRA札幌競馬場	4	
5位	前田	エルグレイ	北大(3)	12	

☆標準小障害飛越競技A100				減点	J.O.タイム
1位	百瀬	ハイアンペガサス	モモセライディングファーム	0	29.64
2位	大林	ファントリロハリー	JRA札幌競馬場	0	30.29
3位	田中	マナサロワール	ライディングファーム・フセ	0	31.40
13位	前田	シーベスト	北大(3)	8	
	久保	サラマンダー	北大(2)	2反E	
	坂井	サラマンダー	北大(2)	2反E	

☆標準中障害飛越競技D110				減点	J.O.タイム
1位	荻野	アラビアンビスキー	ビクトリーライディングクラブ	0	37.29
2位	相田	モンテウエルテ	モモセライディングファーム	0	38.48
3位	小野	ダイナダイ	乗馬倶楽部メインファイ	0	40.75
6位	松井	岩竜	S46卒		
17位	利根川	北旋風	北大(3)	12	
20位	馬場	北凌	北大(4)	19	

☆新馬障害飛越競技100A				減点	獲得賞金
1位	小野	ラインハート	乗馬倶楽部メインファイ	0	¥40,000
5位	木村	ハワフルショット	H16卒	12	¥0

☆新馬障害飛越競技100B			
1位	住川	マジロジャンセン	北星乗馬クラブ
2位	木村	ハワフルショット	H16卒
3位	川北	イースタートラネージュ	ノーザンホースパーク

☆新馬調教障害飛越競技L70A				減点	タイム
1位	前野	ハワフルショット	北大(4)	0	71.73
2位	金井	柏鯨	帯広畜産大学	0	73.01
3位	日野	ハワフルショット	北大(3)	0	79.44

☆新馬調教障害飛越競技L70B				減点	タイム
1位	日野	ハワフルショット	北大(3)	0	60.56
2位	荒木	ノースネイチャー	ノーザンホースパーク	0	61.32
3位	前野	ハワフルショット	北大(4)	0	62.47

☆スピードアンドハンディネス中障害飛越競技D105(一般の部)				タイム
1位	小野	ファンキーハブル	乗馬倶楽部メインファイ	58.81
2位	相田	モンテウエルテ	モモセライディングファーム	62.98
3位	岩見	ニクスピリット	にいかっぶほろしり乗	65.35
20位	林	サラマンダー	北大(2)	88.55

☆スピードアンドハンディネス中障害飛越競技C115				タイム
1位	原田	ナージュバトル	にいかっぶほろしり乗	72.55
2位	雨宮	ヨンモロウ	JRA日高育成牧場	73.82
3位	阿部	ホウクリーク	ノーザンホースパーク	78.52
14位	一色	北蒼	北大(2)	96.60
17位	利根川	北旋風	北大(3)	121.85
	馬場	北凌	北大(4)	2反E

☆一般ツースター総合馬術馬場馬術競技A(1)				得点率
1位	荻野	アリエル	ビクトリーライディングクラブ	58.5
2位	百瀬	ヘイアンペガサス	モモセライディングファーム	51.9
3位	樋口	ブラックジーンズ	酪農学園大学	49.3
4位	一色	北彗	北大(2)	48.5
5位	林	サラマンダー	北大(2)	48.3
☆一般ツースター総合馬術馬場馬術競技				得点率
1位	荻野	アリエル	ビクトリーライディングクラブ	61.7
2位	梁川	イチジコンドル	酪農学園大学	55.2
3位	藤本	ウインゼニス	酪農学園大学	55.1
10位	利根川	北旋風	北大(3)	44.4

赤ひげ

で

よくコンパをやります。次のコンパが楽しみだ。

札幌市北区北22条西5丁目2-5

TEL 707-5076

●第40回北日本学生馬術大会(於 福島県原町馬事公苑 8月7~11日)

☆二回走行障害飛越競技				一走目減点	二走目減点	総減点
1位	広瀬	柏嶺	帯広畜産大学	0	0	0
2位	前田	エルグレイ	北大(3)	0	4	4
3位	一色	北彗	北大(2)	7	0	7
4位	梁川	リーダーズ	酪農学園大学	8	0	8
5位	大林	柏嵐	帯広畜産大学	4	8	12
6位	前野	北翔	北大(4)	8	4	12
7位	竹本	雪紫電	北里	12	4	16
8位	武田	メック	北里	8	12	20
9位	松田	零	帯広畜産大学	12	12	24
10位	赤澤	ゴルトザムラ	岩手大学	12	16	28
11位	石原	ルシファー	東北学院大学	4	25	29
12位	川上	ユウバク	酪農学園大学	4	27	31
13位	天野	ウラン	岩手大学	28	4	32

☆学生賞典総合馬術競技				調教減点	耐久減点	余力減点	総減点	D区間タイム
1位	方积	ユーフォー	酪農学園大学	67.78	0.00	8	75.78	
2位	広瀬	柏嶺	帯広畜産大学	73.66	0.00	4	77.66	
3位	阿部	トーホウトツ	岩手大学	67.88	4.40	8	80.28	
4位	天野	ウラン	岩手大学	71.97	0.00	12	83.97	
5位	一色	北彗	北大(2)	77.10	7.20	4	88.30	
6位	税所	柏海	帯広畜産大学	73.06	0.00	20	93.06	4分41秒
7位	七木田	バリアント	岩手大学	75.06	10.00	8	93.06	5分19秒
8位	八戸	チャレンジ8	酪農学園大学	69.66	16.00	8	93.66	
9位	山下	柏劉	帯広畜産大学	70.56	0.00	28	98.56	
10位	利根川	北旋風	北大(3)	83.01	5.20	20	108.21	
	馬場	北凌	北大(4)	72.27				
	前野	北嵐	北大(4)	76.18				

☆小障害A障害飛越競技				総減点	J.O.タイム
1位	下山	柏海	帯広畜産大学	0	33.60
2位	稲見	柏嵐	帯広畜産大学	0	42.79
3位	木南	キルシエ	岩手大学	0	49.64
13位	林	サラマンダー	北大(2)	8	
20位	久保	北旋風	北大(2)	15	
OP	前田	シーベスト	北大(3)	3反E	

☆小障害B障害飛越競技				総減点	J.O.タイム
1位	佐藤	キルシエ	岩手大学	0	37.25
2位	一杉	マリンドルシア	東北大学	0	39.53
3位	土岐	シルバートップ	弘前大学	0	39.98
5位	坂井	北彗	北大(2)	0	46.05
13位	川本	北凌	北大(1)	10	
OP	前野	パワフルショット	北大(4)	4	
	関田	北凌	北大(2)	3反E	
	小阪	シーベスト	北大(3)	3反E	
	日野	パワフルショット	北大(3)	落馬E	
	住江	シーベスト	北大(1)	3反E	

☆第3課目馬場馬術競技 Bグループ				得点率
1位	金井	柏鯨	帯広畜産大学	55.06
2位	三瓶	ヘルフラワー	福島大学	53.21
3位	鈴木	ホマレオー	東北大学	51.36
6位	日野	ハワフルショット	北大(3)	47.41

●第50回北海道体育大会 兼 第59回国民体育大会馬術競技北海道ブロック大会

☆一般第3課目馬場馬術競技				得点率
1位	岩野	メディアストーム	ノーザンホースパーク	58.765
2位	鈴木	アンビション	モモセライディングファーム	55.185
3位	佐藤	ロッキーバンサー	オーフルホースコミュニ	53.333
8位	林	サラマンダー	北大(2)	44.568

☆標準中障害飛越競技D110(一般の部)				減点	J.O.タイム
1位	相田	モンテウエウテ	モモセライディングファーム	0	39.57
2位	村上	バトルマーク	北星乗馬クラブ	0	46.95
3位	近藤	ゼロディバイト	コンドウファームライディングジール	0	50.17
6位	松井	リッキー	S46卒	4	

☆スピードアンドハンディネス中障害飛越競技D105(一般の部)

1位	相田	モンテウエウテ	モモセライディングファーム
2位	玉井	柏嶺	帯広畜産大学
3位	森川	リッキー	モモセライディングファーム
11位	松井	岩竜	S46卒

☆新馬障害飛越競技105A

			減点	獲得賞金
川北	イースタートラネージュ	ノーザンホースパーク	0	¥17,500
川北	アドマイヤカイザー	ノーザンホースパーク	0	¥17,500
木村	ハワフルショット	北大OB(1)	20	

☆新馬障害飛越競技L90A

OP	日野	ハワフルショット	北大(3)	落馬E
----	----	----------	-------	-----

☆新馬障害飛越競技105B

			減点	獲得賞金
川北	イースタートラネージュ	ノーザンホースパーク	0	¥11,000
住川	メジロジャンセン	北星乗馬クラブ	0	¥11,000
小野	ラインハート	乗馬クラブメインフィールズ	0	¥11,000
木村	ハワフルショット	北大OB(1)	8	

☆新馬障害飛越競技L90B

			タイム	減点	
1位	緒方	ミナミノゴージャス	ライディングファーム・フセ	98.28	0
2位	一色	ハワフルショット	北大(2)	88.72	0
3位	内布	ステージチャンプ	ノーザンホースパーク	88.00	0

●第18回北海道秋季馬術大会(於 ノーザンホースパーク 9月17～19日)

☆一般標準中障害飛越競技C120				減点	J.O.タイム
1位	佐藤	アーレストローク	札幌乗馬倶楽部	0	55.99
2位	方駅	ユーフォー	酪農学園大学	0	57.05
3位	前田	エルグレイ	北大(3)	4	
10位	利根川	北旋風	北大(3)	24	
	松井	岩竜	S46卒	2反E	
	一色	北替	北大(2)	2反E	

☆標準小障害飛越競技A100(牡年の部)				減点	
1位	岩坪	ノースライト	モモセイディングファーム	0	
2位	川久保	レオン	十勝柏友会乗馬クラブ	4	
3位	松井	ノースライト	S46卒	8	

☆標準小障害飛越競技A100				減点	タイム
1位	小沢	レオン	十勝柏友会乗馬クラブ	0	
2位	芝田	柏朱鷄	帯広畜産大学	4	59.15
3位	風間	柏朱鷄	帯広畜産大学	4	60.92
8位	久保	北旋風	北大(2)	12	
OP	一色	ハワフルショット	北大(2)	0	

☆一般新馬障害飛越競技110A				減点	獲得賞金
	木村	ハワフルショット	H16卒	16	¥0

☆初心者障害飛越競技L90A				減点	タイム
1位	里深	ワンポイント	ノーザンホースパーク	0	69.17
2位	小林	トチアトラス	十勝柏友会乗馬クラブ	4	79.07
3位	後藤	トチアトラス	十勝柏友会乗馬クラブ	4	77.48
4位	住江	北旋風	北大(1)	4	77.11

☆一般新馬障害飛越競技110B				減点	獲得賞金
	川北	イースタートラネージュ	ノーザンホースパーク	0	¥20,000
	近藤	ケイスⅢ	コンドウファームライディングジール	0	¥20,000
	川北	アドマイカイズー	ノーザンホースパーク	0	¥20,000
	木村	ハワフルショット	北大OB(2)	4	

☆ノーザンカップファイナルチャンピオン戦110				総減点	総タイム
1位	川北	イースタートラネージュ	ノーザンホースパーク	4	145.66
2位	春田	マチカネウコン	モモセイディングファーム	8	139.37
3位	近藤	ケイスⅢ	コンドウファームライディングジール	8	145.43
5位	一色	ハワフルショット	北大(2)	16	145.76

☆初心者障害飛越競技L70B				減点	タイム
1位	小阪	シーベスト	北大(3)	0	77.88
2位	水上	ユウハク	酪農学園大学	0	74.10
3位	玉井	茶太郎	帯広畜産大学	0	72.87
6位	川本	シーベスト	北大(1)	0	66.74

★初心者障害飛越競技L90B				減点	タイム
1位	後藤	トチアトラス	十勝柏友会乗馬クラブ	0	78.43
2位	楠村	サプロー	十勝柏友会乗馬クラブ	0	77.04
3位	小林	トチアトラス	十勝柏友会乗馬クラブ	0	70.61
7位	関田	北替	北大(2)	0	63.28

★新馬調教障害飛越競技L90B				減点	タイム
1位	日野	シーベスト	北大(3)	0	66.86
2位	内布	ショットガンアニー	ノーサンホースパーク	0	71.72
3位	緒方	ミナミゴージャス	ライディングファーム・フセ	0	75.78

●OB戦(於 北大 10月10日)

★120cm障害飛越競技				減点
1位	前田	エルグレイ	北大(3)	0
2位	一色	北替	北大(2)	4

★110cm障害飛越競技				減点
1位	林	サラマンダー	北大(2)	0
2位	久保	エルグレイ	北大(2)	0

★100cm障害飛越競技				減点
1位	小阪	サラマンダー	北大(3)	8

★80cm障害飛越競技				減点
1位	川本	北替	北大(1)	0
2位	住江	北替	北大(1)	0

★クロスバー障害飛越競技 基準タイム80sec				タイム	減点
1位	荒瀬	シーベスト	H6卒	82.58	0
2位	大那	サラマンダー	北大(1)	73.5	0
3位	竹田	北替	H16卒	99.17	0
4位	池谷	シーベスト	北大(1)	71.19	0
5位	中田	シーベスト	H9卒	89.42	0
6位	野中	北替	S59卒	69.34	0
7位	谷山	サラマンダー	北大(1)	67.69	0
8位	工藤	シーベスト	北大(1)	97.74	0
9位	川原田	シーベスト	北大(1)	87.19	4

★リレー競技				タイム
1位	チーム東海三県			4.04
	吉川	サラマンダー	H15卒	
	国井	エルグレイ	H15卒	
	寺島	イクスカーション	H16卒	
2位	チーム市川			3.44
	佐賀	サラマンダー	H16卒	
	市川	エルグレイ	S38卒	
	武井	イクスカーション	H16卒	
3位	チーム副将			3.29
	加藤	サラマンダー	H15卒	
	井口	エルグレイ	H13卒	
	尾崎	イクスカーション	H12卒	

●モモセダービー(於 モモセライディングファーム 10月23日)

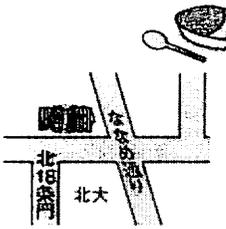
☆クロスハーフ障害飛越競技				タイム	
1位	住江	リューク	北大(1)	105.53	
2位	池谷	リューク	北大(1)	114.50	
3位	工藤	リューク	北大(1)	118.22	
4位	大那	スズロード	北大(1)	177.37	
5位	谷山	スズロード	北大(1)	257.69	
OP	利根川	リューク	北大(3)	98.85	
OP	前田	マチカネウコン	北大(3)	89.59	
☆80cm障害飛越競技				タイム	減点
1位	久保	ハイアンペガサス	北大(2)	125.13	0
2位	林	ハイアンペガサス	北大(2)	106.03	4
3位	関田	スズロード	北大(2)	186.12	15

●第54回全日本学生賞典障害飛越競技大会(於 JRA馬事公苑 11月2~7日)

☆第54回全日本学生賞典障害飛越競技会				一走目減点	二走目減点	総減点	J.O.タイム
1位	平原	ジャスコティ	大阪体育大学	0	0	0	38.79
2位	広瀬	柏嶺	帯広畜産大学	0	0	0	41.54
3位	森	ウイニングエッチ	専修大学	0	0	0	41.80
	前野	北翔	北大(4)	3反E	棄権		
	前田	エルグレイ	北大(3)	3反E	3反E		
	一色	北替	北大(2)	3反E	棄権		

☆第47回全日本学生賞典総合馬術競技会				調教減点	耐久減点	余力減点	総減点
1位	戸本	明州	明治大学	46.9	0	8	54.9
2位	佐藤	明政	明治大学	50.1	0.8	4	54.9
3位	北島	明桑	明治大学	46.6	12.4	0	59.0
37位	一色	北替	北大(2)	84.8	59.6	36	180.4

美味しさ発見 新しくオシャレになった
時の館で、一時を
ずこしてみませんか。

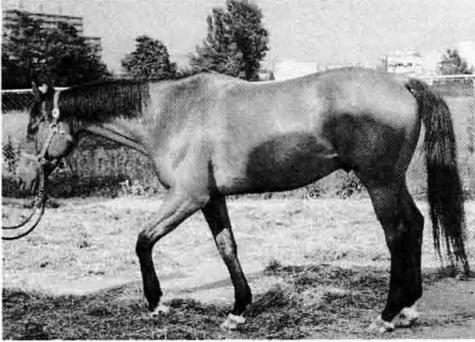


カレーライス
焼肉丼
ソフトクリーム
各種あります。

営業：11:00~24:00
N18 W7
TEL 726-0158

カレーから明日を見つめる
自由人舎 **時館**

北凌 (ハギノレジェンド)



騾 サラ 鹿毛
昭和62年4月10日生
北海道浦河郡浦河町産
父 ハギノカムイオー
母 ハギノコトブキ
競争名 ハギノレジェンド
平成4年6月12日入厩

調教報告

馬場 絃子

私がレジェンドにチーフとして乗り始めたのは昨年の11月でした。乗り代わったころのレジェンドはとても乗りやすい状態だったと思います。脚に対して従順で、精神的にもだいぶ人を信頼して従っていたと思います。そのため経路中でも逃避する癖はなくなり、経路中の馬のコントロールがだいぶやりやすかったのではないかと思います。しかし、自分の実力が馬に追いつけず、結果的にもとのわがままなレジェンドに戻ってしまいました。調教といえることは何もしていませんが、自分が感じたこと、失敗したことなどで今後レジェンドに乗る後輩の参考になれば、と思います。

普段のフラットワークに関しては、まず、脚に対する反応を高めてとにかく馬が脚に集中している状態を作ることが重要だと思います。そのために横運動や巻乗り、停止後の後退などを取り入れ、またペースを一定に保つことを心がけました。レジェンドは自分からどンドン前に出て行こうとして勝手にペースが上がってしまうところがあるので、脚でしっかりペースを作ってやって常にその中から外れないようにしておく必要があります(ペースから外れる=人を無視して馬の勝手になる、ということなので)。

ハミは、ごちゃごちゃ当らず、極力軽いコンタクトを保って拳を使うときと使わないときのメリハリをしっかりつけて必要以上にひっぱらないように心がけました。ハミを引っ張りすぎて馬がハミの方ばかり気にしてしまうようになると、それまでの脚への集中力がなくなってしまい、そこから元の状態に戻すのは非常に困難です。また、減却のときは拳だけでなく脚もしっかり使っておかないと拳と脚が連動せず、結局拳だけで馬を押さえることになってしまいます。

これらのことができていればペースコントロールと常足→停止などの基本的な約束事がきちんとできるようになり、レジェンドの場合はこれがすべてといっても過言で無いと思います。

ハミ受けに関しては、自分の実力的・時間的不足から良い状態へはもっていきませんで

したが、年齢的なことを考えてもきちんとハミを受けさせた中でちゃんと体を使わせてやるのが理想的だと思います。

障害に関しては、まず障害の前後でゆっくりのペースで一定に保つことを心がけました。そのために、障害に向かうまでにしっかり馬を動かしてきて同じリズムで脚を使い続けておくこと、両鑑を同じように踏んでバランスが左右に傾かないようにすること、飛越後のバランスをなるべく早く戻すことなどに気をつけました。また、障害を大きくフラットに飛ばせないように飛越直前の一歩まで体を起こして待つように心がけました（これはフラットな飛越による落下を防ぎたいということもありますが、大きく跳ぶと自分がバランスをくずして飛越後の戻りが遅れるからです）。

一つ一つの障害ごとに第一障害のペースに戻していかないと、徐々にペースが速くなって次第にコントロールからはずれて逃避（左右にきる）されることとなります。私の場合は準備運動と本番での馬のテンションのギャップと、手の内から外れることを恐れて十分に前に出すことができず、第一障害のいいイメージがいまいちわからないまま北日を迎えてしまいました。

また、これは障害の経路走行に限らずですが、レジェンドはいいペースで経路を回っていると思って何かのきっかけで突然キレて障害に向かうラインに入っていないくても突然拒絶を始めることがあります。（出口の方向に向かうことが多い？）しかし、それまでがしっかり手の内に入っていれば、人が焦らずに脚でリズムを与えなおせば意外に戻ってくるという気がしました。（あくまで馬場の中の障害に関してですが…）

野外に関しては、調教的な面では問題ないと思うので、馬場の障害がきっちり回れば野外のコースでも基本的に大丈夫だと思います。それよりも人がなるべくたくさん練習して野外のコースやペースに慣れておいて、理想的なイメージを作っておくことが大事だと思います。人は常に冷静でなくてはならないです（レジェンドは特に）。福島のコースに関して言えば、A 区間と森の入り口がポイントになってくるとは思います、特に森の入り口は完全にトラウマになってしまったので、今後は普段から相当しっかり乗っていないとかなり厳しいと思います（年齢的に再来年は難しいと思いますが）。

レジェンドは焦りやすい性格ですが、上に乗っている人がレジェの突発的な行動にも冷静に対処して普段どおりに指示を与えてあげることができれば、精神面でのコントロールもできて力を発揮させることができると思います。また、ほかの馬に比べると馬のコントロールが脚によるところが非常に大きいので、普段から脚の使い方やタイミングをしっかり使い分けて自分とレジェの間での脚を通した意思の疎通がきちんとなされていることが必要となってきます。（騎乗者の体力・集中力も）

最後に、指導してくださった先輩方、市川先生、井上先生、馬術関係者の方々にはお世話になり、大変感謝しています。特に前騎乗者の武井さんには大変お世話になり、また無礼な行動をとり本当に申し訳ないです、すみませんでした。自分の甘さと技術の無さのために結果を出せず、レジェンドも良い状態で引き継ぐことができず、部員の皆さんや応援

してくださった方々、レジェには申し訳ない気持ちでいっぱいです。
年齢的にそろそろ限界が近いでしょうが、レジェが力を出し切って活躍してくれることを期待しています。



ホリエンム
満点!

コンパ予約受付中
コンパ150名様OK!
当店誕生日、御利用の方には
カラー写真・粗品を
差し上げます。

焼鳥 **きよた**
居酒屋

札幌市北区北17条西4丁目
☎(011)747-7000

北旋風（トルネードダンサー）



騾 サラ 鹿毛
平成2年3月26日生
北海道沙流郡門別町産
父 アスワン
母 ティージーブイ
平成5年9月4日入厩

調教報告

利根川 正明

12月からトルのチーフとして北日を目指していましたが、騎乗面、馬体管理、共に反省ばかりが残るシーズンとなってしまいました。

・ 騎乗面について

シーズンを通して特に苦勞したのは、馬を動かすことができない、つまり障害に対する氣勢を作ることができないということでした。そのため、経路走行における良いペース、良いリズムの感覚を身につけることができませんでした。それでも半澤杯、新緑大会で出場したLAは一落で帰ってくることができましたが、MCクラスになると、それでは障害を飛ぶことはできないと思い、ただ馬をむやみに追い勢いだけで飛ばせるようになってしまいました。そのように障害飛越を行っているうちに、落下の回数が増え、障害に突っ込んで詰まって飛ぶようになり、やがて逃避するようになってしまいました。

そのような状態で北日を迎え、2走では1走こそ落下で帰り権利内に残りましたが、その日の午後に行われた2走目では、かなりの疲労のせいか、なかなか前に出せず、そのためさらにうまのペースをあげて走行してしまい、10落し権利を取ることができませんでした。

この状態から抜け出す、馬を動かすきっかけをつかんだのは秋自馬大会頃でした。まず輪乗り上でしっかり座って、巻乗り、手前変換などを利用して、後馬区をしっかりと動かしながら、内方姿勢をとらせ、またどンドン内方姿勢を入れ替える運動を行いました。この運動をしていくうちに、馬の体勢が深くなっていき、ハミの譲りも良くなり、内方姿勢をとらせられるようになりました。また、主に障害前の駆歩において一定のペースを保つようにうまく抑えながら、馬をどンドン推進していく運動を行いました。この運動をしていくうちに馬の動きが大きくなっていくようになりました。

走して出場した秋自馬のMCは今までと比べればだいぶ良いペース、リズムで経路を廻

ることができました。前に出すことに夢中にならずに、良いペースで走行できるようになると経路取りやアプローチも良くなっていきました。また、トルは右回転になると肩を張って外に膨れてしまうところがあるので、右回転のアプローチにおいては内側のそでを狙ってアプローチしていき、徐々に真ん中にあわせていくというのが良い方法だと思います。しかし経路の後半になるにつれ、抑えが足りないためにペースが速くなってしまい、最終障害を突っ込ませて一拒止させてしまいました。また落下も五つと多かったのですが、これは後半にペースが速くなってしまったこと、また今まで勢いだけで飛ばせてよりリズム良いペースで一つ一つの障害をしっかりと飛んでこなかったことによる悪影響が原因だと思います。しかし、この大会を通じてのトルの氣勢は良く、逃避するそぶりを見せなかったのもその点は良かったと思います。

そして、来シーズンの主な課題は、主に駢足飛越などにおいて普段の練習から、まず氣勢のある中で障害のチェックを早くし、丁寧にアプローチし、また飛越後しっかりバランスバックして、一つ一つをただ飛ぶだけでなく、丁寧に良い飛越をしていくことだと思います。

・ 馬体管理面について

10月の初旬に右後肢を跛行させてしまいました。この跛行は前日から起こっていたもので、それに気づかずに翌日も運動し、より重い跛行にしてしまいました。この跛行による右後肢の歩様(腰の落ち方)はひどいもので、2ヶ月以上の間運動できなくなり、OB戦、全日学総合を棒に振りました。トルや他の部員全員、応援して下さった方々に本当に申し訳ないことをしました。今現在歩様はだいぶ良くなってきて、腰の落ちはなくなりましたが、やはり元々そういうところはあるものの、右後肢を気にしている傾向があります。

この右後肢による跛行を再び起こさせないこと、他の疾患を起こさせないように、来シーズンは運動管理に気をつけていかなければと思います。

来シーズンは怪我なく、良い成績を残せるように練習に励みます。ご指導、ご鞭撻の程よろしく願います。

北鳳 (ヤスノインディアン)



騾 サラ 鹿毛

平成8年4月29日生

北海道三石郡三石町産

父 ダイヤモンドショール

母 ヒカリハード

平成13年12月2日入厩

調教報告

前野 伸策

[フラットワーク]

下方移行をしつこくやりました。これがスムーズにできるようになれば前のめりの改善と発進停止をスムーズにし、バランスバックできると思います。輪乗りの中でポイントを決め、そのポイントで速歩から常歩の移行を繰り返す。移行するとき音声扶助を連動させ馬にわかりやすくやるようにした。3歩くらい常歩してからまた速歩をやりまた同じポイントで同じように下方移行を行う。繰り返しやることで馬は自分からそのポイントあたりに来るとバランスバックしてくるようになる。そうなってきたらポイントをずらして同じように下方移行を行う。この際繰り返しやっていく中でこぶしの強さは徐々に軽くできるようにしていく。また、下方移行に重点を置くことを決めたときから声に対する反応を引き運動のときから徹底して高めようと考えました。声を使うことで馬との摩擦をより少なくし、馬に対してわかりやすいようにしました。

また、単独脚に対しての反応が悪かった（特に左）ので、準備運動では前肢旋回、斜め横足などを入れて単独脚に対する反応の確認をいれるようにしました。このとき最初は一歩でも反応すれば愛撫というように一気に要求し過ぎないように気をつけました。日に日に反応が良くなってきたら徐々に要求を上げていく。このことが良かったのかは分かりませんが、すごくハミにかかりやすかったのが少し改善されたと思います。これはまったくの僕の感覚なのですが、内方姿勢をとらせることで、逃げ場が左右にもできてかかりにくくなったのではないかと。前方のみ逃げ場がある場合はハミにかかっていきやすいのではないかと。このことはまったくの感覚ですから多分正しくないとは思いますが、もちろん下方移行を多く取り入れたことも効果があったと思います。

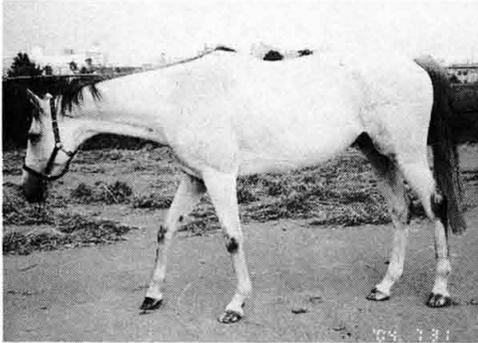
[障害]

ヤスはバスキュールが悪く、特にオクサーになると障害に突っ込んで飛ぶ感じがあった。

また、物が入った障害も同様でそのために幅のある障害が苦手である。垂直障害は馬の能力でこなしてしまうが、オクサーのように幅のある障害はどうしても不安がありました。その点が一番気になったので、コンビネーションをやってオクサーの飛び方を教えられないかと思い、ひたすらコンビネーションをやりました。前を持たずに馬が自由に体を使って飛べるようにし、障害を低く設定してオクサーを飛びやすくするためにオクサーの前のほうを極端に下げたり、オクサーの後ろに垂直を置いてみたり、障害の間に横木を置いてみたりしました。また、いろんな物障害も同様にリズム良く飛べるように（野外の障害も含め）意識しました。このときあまり駆歩飛越はやらない様になりました。理由としては自分には踏み切りを合わせる技術はなく、このことで、馬にまたオクサーに対して不安を持たせないようにするためです。とにかくコンビネーションでオクサーを楽に飛ぶことができるまでは練習でやるにしてもオクサーは間歩のあるラインの後ろのほうに置くようにして人がやりやすくするようにしました。障害後少しばたつくことがあったのでそれもあり障害は低めに設定し、コンビネーション後の下方以降をフラットワークのときと同様に丁寧にやることに気をつけました。やっていくうちに障害後もあまりばたつなくなり、経路走行においても前よりは最初から最後まで落ち着いてやることができるようになったと思います。野外は畜大で馴致をし、そのときはゲネシスの後ろに付けてやりましたがほとんど問題ありませんでした。通してやったときはオープンスペースでコントロールしすぎて馬の気を切ってしまったのと森からオープンスペースという注意すべきところで人が油断してしまったため一反しましたが他は問題なかったです。しかし本番では最後の池のところで三反失権。水馴致は北大のほうでやったつもりになっていた。やっぱりあんな大きな池で深さもわからないところなんて怖いに決まってる。もし自分が馬でも怖いと思うはず。そこで乗り手が馬に勇気を与えてあげられるような騎乗ができませんでした。北日後に馴致をし、かなり最初は嫌がったが通過させることができました。2年後の福島では飛んでくれることと思います。もちろんそれまでのいろんなものの馴致が大事だと思います。

その他として特に注意したことは馬に対してメリハリのついた態度をとるということです。悪いことをしたら叱り、納得したらしっかりほめる。叱ることよりほめることを何倍も多くすべきだと思います。それは馬に乗っているときも、引き運動しているときも、手入れしているときも、馬に接する場合、とても大事なことだと思います。ほめられることをされない馬はひねくれていくと思うし、人間のためにすすんで何かをしよう（例えば障害を飛ぼうとか）と思わない。もちろん人と馬の関係がきちんとしてないとほめても意味がないと思います。馬が人間を立場的に下に見ている場合に人間がほめても馬としては『君にほめられてもねえ・・・』と思うでしょう。そのようなことにならないように普段（引き運動・外乗・手入れなど）から馬と人間の関係（馬≦人間）を意識して馬に接する必要があると思います。

厩北彗(メジロゲネシス)厩



駒 サラ 芦毛
平成5年5月30日生
北海道伊達市産
父 メジロティターン
母 マジロマリア
平成10年11月8日入厩

調教報告

一色 真明

僕が今シーズンでここまでの成績を残すことができたのは、ひとえにゲネシスのおかげだと思っています。僕が新しく調教らしいことを施したわけではなく、まずは人の練習をし、昨シーズンから続くゲネシスの好調を維持するように努めただけでした。調教報告とは言えないと思いますが、今シーズン僕がやってきたことを書いていこうと思います。

まずはフラットワークについて。チーフを任されてから毎日、準備運動は低伸運動を行い続けました。冬の間は僕が低伸運動を覚えるためにこの運動だけを行いました。低伸運動はゲネシスにとって必要最低限の運動内容だと思います。元来ゲネシスは背中に敏感で腰の弱い馬です。そのため、よく背中を張って暴れたり腰を痛めたりしていました。そのため低伸運動でしっかり背中筋肉をつける必要があると考えるからです。しかし、今になって考えると僕がやっていたのは形だけ頭を下げさせただけで後躯も踏み込まず正しい低伸運動ではなかったように思います。ゲネシスは本来ハミに対してあまり従順なほうではなく、巻き込みやすい馬です。巻き込み気味にただ頭を下げさせたのでは前のめりになり、後軀からの力もうまく伝わりません。後軀からの力を受けて馬が自らハミに依ってできるようになって初めて低伸運動やハミ受けができるのだと思います。その点が今シーズンの反省点であり来シーズンへの課題だと思っています。

次に障害について。冬の間は数回、気分転換をかねてコンビネーションをしました。雪がとけてから半澤杯までの間はコンビネーションをし、コンビネーションの中にいろいろな物を入れたりコンビネーションのパターンを変えたりしました。とにかく春先は馬に元気があふれているので人馬に自信をつけるため、また、久しぶりの障害で人がしっかりと馬の飛越について受けるよう随伴、バランスのチェックのためにたくさんやりました。ここで注意しなければならないのが馬の負担についてです。このころは僕がゲネシスを独占状態でした。馬は部の財産であり、チーフの占有物ではありません。この点、ほかの部員

にはご迷惑をおかけしました。来シーズンからはもっと組み立てを考えないといけないでしょう。

今シーズンは春先からの馬のやる気をシーズン通して維持できたことが結果につながったと思います。春先では経路走行中に激しく巻き込んでしまっていたのですが、これは手綱を短く持ち、その分推進を強めることで直すことができました。しかし最も問題なのは、経路走行自体を見ていくと同じミスを何度も繰り返してしまったことです。一言で言うなら「障害間の感覚」です。間の間歩が決まった障害の1つ目を跳び、いかに2つ目に向かうかができていませんでした。1つ目を小さく飛越したら着地から前に出し、しかしただ追うのではなく体を起こして2つ目に向かう。逆に1つ目を大きく飛越したら前進氣勢を失わないように脚を使いながらもバランスバックして、抑えっぱなしにならないように2つ目の2,3歩前には楽にできるようにする。この基本が正確にできませんでした。また、だいぶ改善されたとはいえ左に多少よれて跳んでしまうときがあり、鈍角連続障害では間の距離が変わってしまうのも難易度をあげる原因でした。レベルの低い経路では馬がカバーしてくれましたが、レベルが上がるにつれて人の未熟さが現れてきました。その結果が全日学二走の失権であり、道大会で120cmクラスを一度も満点で帰ってこれなかったという結果です。二走で止まったのは全て間歩が決まった2つ目でした。日頃の練習で間が0,1,2歩のコンビネーションばかりでなく、6,7,8歩の鈍角も含めた間のある障害練習や15m15mの3つの連続障害を間歩自在に行く練習など一歩一歩をつかむ練習をもっとしておけばよかったと思います。

野外については馬自体ほとんど馴染まれており、あとは人がしっかり誘導してGoサインを出すだけでした。ただそれでも注意すべきなのはカフィンのような障害です。ゲネシスの場合、今年の福島馬事公苑のコースはほとんど勢いだけでも回ってこれると思いますが、それでもカフィンや森の中などの暗い場所へ入るときなどは勢いだけでは難しいです。今年の北日学でもカフィンで馬が奥の穴を覗き込んでしまい躊躇してしまいました。馬を戻さず勢いだけで向かっていたら反抗していたでしょう。全日学のコースはさらに難易度が上がり、しっかりとコントロールが必要になります。今年は幅の狭い障害が多く、勢いだけでは簡単に左右に逃避するでしょう。年々勢いだけでは回れないコースデザインになってきています。今回僕が反抗されたのは放牧地内のモンブラン障害でした。ここは最後まで悩みました。この形の障害は一度も跳んだことが無く、跳ぶとは思えるけれども、あまり自信をもてずにいました。ここまで無反抗でこれたなら狙ってもいいのではないかと思いました。実際ここまで無反抗で自信を持っていけると思いました。直後にもっともボリュームのある障害が控えていたので勢い付けて伸ばしたまま向かってしまいました。しかしここも馬を戻してコントロールして向かう障害でした。軽率でした。もっとさまざまな場面を想定して下見をすべきでした。

馬場運動に関しては認識不足でした。普段の練習や部班における隅角通過のときなど馬の姿勢を正しく取らせていくべきで、完全に考えが甘かったです。姿勢作りが甘い分、運

動内容が粗末になり、またちょっとしたことで反抗したりして全日学の調教は散々でした。

と、長々と調教報告というよりは反省文のようになってしまいましたが、要するに僕がいかにかい考えで今シーズン乗ってきたかということです。反省すべき点は山ほどあります。来シーズンもゲネシスに乗ることになりました。来年の部報では堂々と調教報告が書けるよう、もっと馬について考えていきたいと思います。最後になりましたが木村兄をはじめ、こんな僕を支えてくださったOB、先輩、ドンパ、後輩の皆さん、そしてゲネ、本当にありがとうございました。今年はゲネに全国の舞台までつれてきてもらいました。来年は僕がゲネをもっと高い舞台へ導いてあげられるよう頑張ります。

🐎エルグレイ🐎



駒 サラ 芦毛
平成元年6月10日生
北海道三石郡三石町産
父 メジロエスパーダ
母 スナークリーズン
平成14年9月16日入厩

調教報告

前田 晋也

エルグレイ号はメインフィールドの小野さんによって調教された馬であり、僕が調教したことはひとつもありません。完全に馬のほうがレベルが高く、いかに人が馬から教わり上手くなるかがポイントであると考え1年間やってきました。彼は基本的に健康で（今年肺の持病はほとんど感じさせなかった）特に癖もなく、いろいろなことを教えてくれたと思います。しかし、結果的にはもっと彼の反応を感じていれば、もっと彼の言葉に耳を傾けていれば、と思わざるを得ません。

乗り替わり直後は、馬をまともに運動させる事すら出来ませんでした。いかに自分の基本がなっていないのかを痛感しました。バランス・拳・脚・騎座の安定が何よりも必要であることが分かり、前任の高島兄に見てもらいながら冬の間は少しでもこれらの基礎が改善されるよう努めました。

雪が解け春になり徐々に障害練習を始めるようになりました。ここでも基本が重要でした。一定のいいリズムとペースで障害に向かうこと、鏡を踏み馬の飛越についてくことです。前者はFWからのバランス・拳・脚・騎座の安定を、後者は速歩コンビネーションでの幅のあるオクサーについていくことを、主に練習して行きました。また経路練習もできる限り行い、そこでは障害間でしっかりからだを起こすことを意識して行いました。正直このころは経路中は馬についていくのが精一杯でほとんど馬任せの状態でした。それでも彼は拒止することなく130cmの障害も高さをあまり感じさせず飛越してくれていました。だから僕も敢えて余計な事はせずただ馬についていけばいいと考え、それが功を奏したのか、目標の北日で権利を獲得することが出来ました。

北日後は、人に若干余裕ができたため、ほとんど馬任せだったものを徐々にコントロールしていくようにしました。具体的には馬のストライドをある程度コントロールして障害間をスムーズにいくことを目標にしました。しかし、そのためには何が必要で自分に何が足りないのかを十分に考えていなかったため、結果としては十分な推進をしない

ままでただ拳で抑えるだけになり、馬の動きを規制するだけになってしまいました。

そして全日は、馬が慣れない場所で興奮して見慣れない障害にちょっとためらったときにそれを助けることが出来ず、むしろ前述のように馬の邪魔をするばかりになってしまい、反抗を招き、馬が迷うようになってしまい、それを立て直す事もできず終わってしまいました。すべてにおいて人の技量・経験の未熟さが露呈した格好でした。

もう一年彼とコンビを組んで全日を目指す事になりました。今年は昨年の反省をふまえ、まず自分に何が足りないのか、そしてそのためにはどうすればいいのかをしっかりと認識してやっていきたいと思います。そうすれば彼はもっともっといろいろ教えてくれることであろうと思います。

最後に競技会などで貴重なアドバイスをいただいた小野さん、そしてほぼ毎週末札幌にいらして練習をみていただいた高島兄には本当にお世話になりました。もう一年さらに上を目指していきたいと思いますので、またよろしくお願いします。

有限 **菅原写真商会**
会社

パスポート写真

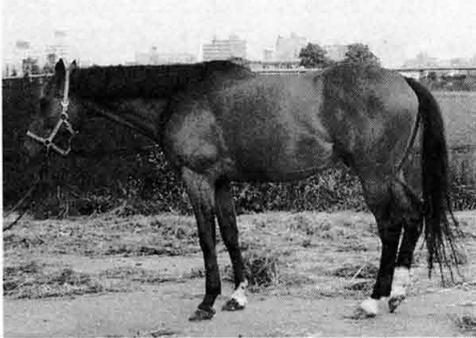
カメラ・カラープリント特急仕上

3分間写真

各種証明写真

北22条西4丁目 ☎ 716-2662

北翔(シンコウブラウン)



調教報告

駒 サラ 鹿毛
平成2年3月6日生
北海道浦河郡浦河町産
父 クライムカイザー
母 アーマゲイ
平成15年1月19日入厩

前野 伸策

この馬に関して僕が何か調教したということはないので乗ってきて感じたことを書こうと思います。北翔は右後肢の腱を切っているので、右後肢をかばうような歩様になり腰と前肢に負担がかかりやすいです。障碍のあとは特にしっかりとクーリングダウンして、強い運動をした次の日は必ず乗って急に次の日に休ませないようにしました。強い運動をした次の日に完全な休馬にしてしまうと一日中馬房に入っていて体を動かさないので逆に疲れがたまってしまうのではないかと思います。放牧に出してあげられれば良いのですが肢が良くないので、暴れないようにパドックにしか出してあげることができない。そのような理由から障碍などの次の日は必ず整理運動するようにしました。前肢のケアに関しては競馬場開催のときにバイトでお世話になった開業獣医の松永先生から聞いた方法(三分間冷やして三分間あたためるというのを繰り返して数回行うことで血流が良くなり疲れが取れやすいらしい)をやってみるとかなり効果があったのでほかの馬にも試してみると良いと思います。フラットワークに関しては常歩でできるだけほぐしてから運動したほうが良いと思います。僕は巻乗り、斜め横歩、反対姿勢の巻乗りなどを入れることでほぐれやすくなると思います。前進氣勢があるので脚がおろそかになりがちなのですが脚を使わないとかかかってきてまとまてきません。少し肩を張るので、まっすぐ乗って外方の壁を意識するようにしました。斜め横足をして肩を張るそぶりをしたらすぐに直行進、または巻乗りという運動を行うと肩を張りにくくなりました。障碍に関しては元氣よくまっすぐ入って馬をおこして脚ではさんでまっすぐいけば飛ぶと思います。馬が自分で踏み切りはあわせてくれるので人が変にあわせようとして失敗するよりは馬にまかせて気持ちよく飛ばせてあげたほうが良いと思います。それよりも障碍後に大きく跳んだときと詰まって飛んだときの対処とすぐに良いリズムとペースにできるかを考えて乗りました。そして経路全体としてよいリズムとペースで回ってこることができるように。北翔は障碍になるとかかりやすいのでつい抑えがちに乗ってしまい、脚がおろそかになってしまうと思いますがしっかりリズム良く脚を使って推進してむしろ前に出すぐらいの気持ちで乗ったほうが結

果的に良くなると思います。逆に抑えることばかりになってしまうとかかかってどうしようもなくなって良いリズムとペースで回ってることができないと思います。それは他のかかる馬に関しても同じだろうと思います。前に出した中での馬のコントロールの練習を意識したほうが良いと思います。馬の体の調子が悪いときは障碍（特にダブル・トリプル）を右によれながら飛んでしまいます。大会でそのような時は良くないとは思いますが障碍の少し左側を狙って行って左の開き手綱で修正するようにしました。右回転はしっかり内方脚を使わないと馬が苦しいと思います。まっすぐ乗ってしっかり脚を使うようにしたほうが良いです。

腹へご様大歓迎

丼物各種500円～650円
バラかつ丼 カツ丼 牛カルビー丼 他丼物各種
定食各種650円～730円
回鍋肉 肉野菜炒め 子キンカツ 他定食各種
御満腹 御満悦！北大生御用達の店！

北の食文化 六宝亭

AM11:30～2:30 PM5:00～10:30
北21条西4丁目北大通り沿い

厩 シーベスト 厩



駒 サラ 黒鹿毛
平成7年6月5日生
北海道浦河郡浦河町産
父 タマモクロス
母 シークイン
平成15年8月25日入厩

調教報告

前田 晋也

シーベスト号は白井牧場よりやってきた馬で、ある程度調教の進んだ段階で北大に入厩してきました。そこで木村兄に助けてもらいながら現役が乗ってやっていくことになり、1月からは僕がチーフとして乗ることになりました。しかし、この半年を振り返ってみて僕はまったく責任を果たすことができませんでした。一言で言って僕の意識不足・認識不足だったと思います。

冬の間は人の技術不足のため何もできず、ただ毎日乗り回しているだけの意味のない運動を繰り返していました。その上その技術の向上をはかるための努力を怠り、自分に必要な練習は何かを考えもせずただできないできないとわめいているだけでした。僕が思うにこの時期の2年生チーフは絶対的に乗り手の技術が不足していると思います。だから、初めて運動管理をするようになってあれこれいろいろなことを考えるようになってしましますが（これも大事なことだとは思いますが、チーフになって馬のことを何も考えないでいるなんてことはありえないと思うので）、必ず自分の練習の時間というものをもうけて基本的な姿勢の改善なども行っていくべきだと思います。

シーズンに入っても馬の調教段階などを無視し、ただ障害を飛ばしたいと思い、自分の失敗を欄に上げ、反抗したらただ怒るだけという馬にとって最悪なことを繰り返しているだけでした。実際それではよくないと分かってはいたが、どうしていけばいいのかが分からず、また深く考えたり勉強したり人に聞くことを怠ったことが一番の原因であったと思います。確かにシーベストは速歩のリズムが悪く速歩のコンビネーション障害がうまくできないことや障害直前で失速することなど、障害を上手に飛ばない馬ではありましたが、それなら丁寧に横木通過やキャバレッティを繰り返し行って、横木や障害に自信をつけさせるようにするといった対処をしてしかるべきであったと感じます（実際8月からそのよ

うにしていったら徐々に改善の兆しが見えてきた気がしました)。

この半年間は馬にとってほとんどプラスにはなりませんでした。人は今更ながらいろいろなことを学ぶことができたと思います。大事なことはまず自分と馬のレベルを把握するとともに問題点をはっきりさせること、そしてその問題を解決するために必要なことは何なのかをしっかりと見極め、できるまで努力することだと思います。このことは来年に活かしていこうと思います。



マチのほっとステーション

LAWSON

札幌北高前店

(有) 丸エス丸和食品

札幌市北区北23条西9丁目18-654

電話：011-717-7788

🐎 パワフルショット 🐎



駒 サラ 青毛
平成9年4月21日生
北海道三石郡三石町産
父 プライアンズタイム
母 ゴールデンリッカ
平成15年11月15日入厩

調教報告

木村 滋之 (03年度卒部)

パワフルショットの調教は2003年の12月ごろから始めた。もともととても大人しく冷静な馬で、すずらん乗馬クラブで数ヶ月乗られていたこともあり、ある程度の扶助は理解していた。ただし、歩様はまだまだ競走馬のままであった。

冬場の数ヶ月は頭頸を深く下げさせた低伸運動によるジムナスティックを中心に、キャバレッティからコンビネーションにいたる障害調教も徐々に進めていった。低伸運動を始めてひと月ほどたった頃から歩様が変わり始め、よく背中を使って動くようになってきた。それに伴い筋肉も付き始め、冬の終わりごろにはだいぶガッチリとした体型になった。障害調教は、最初こそ地上横木一本またぐのも嫌がっていたが、キャバレッティを理解し、難なく通過できるようになったら、あとはスムーズに進んだ。このとき低いクロスバーでの常歩飛越も並行して行った。その影響か、後肢を良くふんばってゆったりとした飛び方をするようになった。この馬が試合で落下が多いのは、注意力がないと言うよりも自分の飛越にかなりの自信を持っていて、少しくらいかすっても痛くないと思っているようで、いつもバーのストレスを飛ばうとするからで、バスキュールが悪いわけではないので問題ではないと思う。あまり気になるようだったら固定障害や鉄管などを使って少し痛い思いをさせても良いと思うが、騎手が落下を少なくする乗り方を心がけるほうが大切である。

大人しい馬だったのでシーズン中現役の練習にどんどん使ったが、それがまずかった。自分が乗っても気を抜いたら入り口方向に膨らんだりするような状態で、何も考えずに現役の練習に使っていたもんだから、入り口方向に逃げたりすることを覚え、どんどんわがままな馬になっていった。特にOBが乗る新馬の馬責になる部員なんて、だいたいあまり乗れない子が多く、まだまだ新馬に乗るには技術が足りないわけだから、練習させるとしたら調馬索や小さく区切った馬場の中で運動させるといった工夫をして、絶対にわがままをさせないようにしなければならない。新馬のうちにわがままを覚えたら、それを直すのはなかなか難しい。だからパワフルショットは早く離厩させた方がいいかも知れない。ただ障害のセンスは抜群なので、それが惜しい。

ノーザンの試合ではリバプールにてこずった。一度フレンドシップでリバプールで拒止されて落馬したことがあり、そのときはすぐ乗って何とか飛ばせたが後の祭りで、その後の試合でも何度も止まった。一度はリバプールは入っていないがリバプールとセットの青いプラスチック製の袖を使っていたというだけで止まったりしたこともあり、相当なコンプレックスを抱かせてしまった。ホームセンターでノーザンのリバプールに質感の良く似たものを高い金を払って買って来て馴致した甲斐もあって、最後の2試合は何とかリバプールを反抗せずに帰ってくるようになったが、まだまだ予断は許さない状態であろう。とりあえずあと一年は、レベルを上げずに確実にコースを無反抗で帰ってくることを繰り返した方が良くと思う。

野外に関しては、昨年の北日最終日に原町馬事公苑の野外コースをコフィンを抜かして、一通り問題なく飛んでいるので、あとは乗り手次第。

このくらいでパワフルショットの調教報告は終わらせていただく。あまり長々と書いても、読み手に伝えたいことが伝わらない可能性がある。ここからは今の現役のために他の馬のことも一頭一頭少しずつアドバイスを書こうと思う。

まずレジェンド。今年使えるかわからないが、もし試合に使うのであれば絶対に走られないことをこころがけること。走ることも一種のわがままと思っただ方が良く。繰り返すほど馬は調子に乗る。シーズンの初期に低いレベルの練習でよいから走らせないことを徹底すること。抑えるときは背を高くして絶対に前傾しないこと。しっかりと手の内に入れた状態で推進して乗れるように。経路走行では抑えすぎてゆっくりしすぎないことも大切。障害前で追い出すのは一番ダメ。常に前に出しておくこと。あとは良いバスキュールを描かせるよう心がけて。

トルネードはもう古馬なので、あまり障害練習をやり過ぎないように。特に前進気勢がないときは、注意すること。障害の準備運動ではメリハリのある詰め伸ばしが出来るように。3歩伸ばしたらすぐ詰める。一瞬で伸びないように鞭を使う。

ゲネシスは、経路走行では回転で推進して後ろ足をしっかり踏み込ませるように、アプローチが長い障害や、間歩のある2つ目の障害など、障害前の直線ではバランスが前に行かないようにしっかり待って、普段から左によらせないように心がけて。

ヤスは、経路練習をたくさんやること。まだ筋肉がついていないから出来れば低伸運動をしたほうがよい。今のままではすぐ故障する。あとはレジェンドと同じ。

エルグレイは4間歩を3歩で行かないように。連続障害は少しゆっくり入ること。乗り手が踏み切りを読めるように、5～7間歩のラインでよく練習すること。その代わり無駄にコンビネーションをやりすぎないこと。

シンコウブラウンは、基本的にレジェンドといっしょ。あまり拳だけで抑えすぎると横に逃げるようになるから注意。常に前に進ませることが大事。肢が悪いからと言って、障害練習が消極的にならないように。密度の濃い練習をすること。

シーベストは、内方脚で外に出せる状態にしておくこと。この馬も障害前どちらかによる

癖があるので、よらさない様に工夫して練習すること。飛びが改善されるまでは、高い障害は飛べない。コンビネーションと低い高さの経路走行を地道にやっていくこと。

イクスカーションは踏み込みが悪いので、前に出して乗ること。興奮するようであれば回転運動をする。徐々に部班に慣らしていくこと。駈歩は最初難しいと思うから無理せずに、日々こなしていくうちに慣れていくだろう。

ウィンジーニアスはシャンボンでも折り返しでもいいからとにかく低伸。トップラインの筋肉をしっかり養成すること。

この新馬2頭は、あまり器用ではないのでキャバレッティ～コンビネーションを時間をかけて地道に進めていく。まずは障害よりも2課目が踏めるようになること。

全体として、コンビネーションで練習することが多いと思うが、古馬はそれだけで終わらないように、飛んだら次を意識できるような練習を心がけること。障害は、いかにバランスを整えて、次の障害に向かえるかが一番大事。

総合馬は普段から野外を飛んでおくこと。少なくとも週に一回。特に衛藤さんの耐久コースは原町よりもトリッキーな障害が多く難しいから、よく研究して練習すること。

馬場は欲張らず、7点を取るよりも4点以下を取らないことをめざすこと。部班などで確実に手の内に入れて丁寧な運動を心がけること。図形と歩度変換が重要。横運動など捨てても良い。ただし内方姿勢をしっかりととらせるように。

現役の諸君、健闘を祈る。

以上。

中古車と整備

民間車検工場

株式会社 **北大モータース**

札幌市北区北18条西5丁目1-36 ☎ 726-1526

🐎イクスカーション🐎



騾 サラ 鹿毛
平成10年6月20日生
北海道浦河郡浦河町産
父 ラムタラ
母 インパレル
平成16年9月15日入厩

入厩報告

久保 裕道

イクスカーションは9月15日にノーザンホースパークより入厩しました。競走馬としては4勝でなかなかの活躍を残しています。とても大人しく扱いやすいので、乗馬としての扱いも期待されます。

🐎ウインジーニアス🐎



牡 サラ 鹿毛
平成12年4月19日
北海道千歳市産
父 バブルガムフェロー
母 サクラギャル
平成16年10月24日入厩

入厩報告

利根川 正明

ウインジーニアス号は10月24日に東北大学馬術部OBで現在はNOSANに勤めていらっしゃる南波さんの紹介によりウインレーシングクラブから入厩しました。競走馬時代は中央で走っていて、GIIで3着になったこともあります。父はバブルガムフェロー、母サクラギャルです。性格は、普段、騎乗時共に大人しくて乗りやすい馬です。年内は屈腱炎で乗れませんでした。年明けに乗れるようになりました。北大で末永く活躍してくれる馬にできるよう頑張ります。

🐎サラマンダー🐎



騾 中半血 栗毛
昭和58年生
オーストラリア産
父 不詳
母 不詳
平成14年3月14日入厩
平成16年10月16日離厩

調教報告

林 宣隆

僕がサラマンダーのチーフになったのは6月のことでした。2年生のこの時期にチーフになることは僕にとって大きなチャンスでしたが、まだまだいろいろな面で未熟でした。では自分は何をすべきか、何ができるかを考えました。それは、馬の管理をしっかりすること、練習や試合で多くの経験をつみうまくなることだと思いました。サラマンダーの調教に関しては、練習馬でありOBの武井さんにみていただいたのであまり考えずに練習しました。そういうわけで、今回は調教以外の日々のことで感じたことを少し書こうと思います。

まず馬の管理に関しては、日常の健康管理はもちろん馬との関係をしっかりとつくるという事が大切だと思いました。馬に乗ることが下手ならなおさらで、曳き馬や手入れなど乗っているとき意外での関係づくりを大切にすべきだと思いました。具体的にいえば、曳き馬でただ歩かせるだけではなく、舌鼓にしっかり反応させる、停止させた後人の指示があるまで我慢させることなどを徹底的に行うということです。特にサラマンダーは人をなめるところがあつたのでこれが必要でした。舌鼓に反応しなかったら分かるまで強くしかり次に馬が理解したらよく褒める、この当たり前と思うことを下級生を含めて部員全員がすべての馬にできることができれば馬との良い上下関係を築けると思います。またそうすることにより、馬を人に従わせなければならないという人の意識も自然と生まれ、自分から馬を動かしていくという積極的な騎乗にもつながると思います。

次に練習に関しては、上にも書いたのですが積極的に乗ることが第一だと思いました。自分を含めて下級生が一番多く受ける指示は「もっと元気よく」だと思います。サラマンダーもどれだけ動かせるかがポイントの馬でした。いつも言われることが同じなのであるから、たまには「前に出しすぎ」と注意されるくらい元気良くしてみればよいのです。僕も大胆に乗ってみて失敗することで馬の良い状態と悪い状態を知ることができました。他に僕の心がけたことは、毎日の練習の反省をメモし次の日の練習に望むことです。毎日悪い

点を書き続けると自分の癖がすぐに見えてくるものです。またそれによって考えて馬に乗ることができるようになりました。気付いたときにメモするだけでも、感じたことを字として残すということに大きな意味があるのだと思います。

ここまで偉そうに書いてしまいましたが、これは僕がもっと早く意識できていればよかったのと思うことです。このことを含め、サラマンダーからは多くのことを学びました。僕はこの経験を残りの馬術部生活に最大限生かしてがんばっていきたいと思います。

最後に武井さんには毎日毎日つきっきりで大変お世話になりました。ありがとうございました。引き続きですが今年もよろしくお願いします。今年の目標は全日出場です！

離厩報告

林 宣隆

サラマンダー号は10月16日に21歳という高齢のため「このみ寮」というところに離厩しました。同馬は落ち着いた性格で素直なため、下手くそな僕らが乗っても安心して練習や試合に出ることのできる最高の練習馬でした。今の現役の中でこの馬にお世話になっていない人はいないと思います。離厩先のこのみ寮は障害者乗馬をやっており、今後はホースセラピーで障害者を癒してあげる役を担うことになりました。北大で人気者だった同馬はすぐにこのみ寮の人気者となってくれるでしょう。

サラちゃん、2年間半お疲れ様。そしてありがとう。また会いに行くからね～

東京OB会について

東京OB会会長 樋口正明

東園基文前会長から、バトンタッチを受けた樋口です。部報発刊の機会に、東京OB会の紹介をさせていただきたい。

私の学生時代には、馬術部の後援会はなくOB会のような組織があればと、折にふれ思っていた。

昭和三十四年、有志の呼びかけによって、東京OB会が発足して、東園先輩が会長に、樋口が幹事を担当する事になった。

東京OB会は、池内、千田、千葉氏の協力をいただきながら、家族も参加できる乗馬会、ジンギスカンパーティなどの行事を催してきた。馬事公縁から砧公園への街乗の経験もある。観桜会は特に毎年好評で、会員の親睦を深めながら、馬術部への支援資金を積み立てることができた。

東京OB会の半世紀近い経過の中では、活動の停滞したときもある。

特にこの数年は、現役部員の皆さんの期待にこたえることができない状態が続き、多くのOBにも心配をかけてきている。しかし、有志の人達が立ちあがって、東京OB会再生の努力が続けられている。

平成十六年十一月、全日本学生馬術大会の際、久しぶりに現役部員の激励会を開催することもできた。

馬術部という共通の絆で結ばれているOBの我々は、今後とも、現役部員を支援する力になりたいと思っている。

現役の皆さん、また全国のOBの皆さん、機会のあるときには、東京OB会の集りにいつでも参加してください。大歓迎です。

群馬にて大騒ぎしました

北馬37年同期会

平成16年12月18日～19日、呑むこと、食べること、しゃべること、そして馬と温泉が好きな37年同期会(S37年入部)の面々が、34年入部の恩田正臣先輩が営む群馬県太田市の「かなやま森林馬事公苑(以下「恩田 RP」)」に集まり、性懲りもなくまたまた大騒ぎしてしまいましたので、その顛末をご報告申し上げます。

恩田先輩が退官後2年かけた手造りの馬場に押しかけようと計画を練り始めたのが平成16年春まだ浅き睦月でしたが、英国に馬術留学中の近藤の帰国日程に合わせて実現できたのが師走ということで、還暦過ぎてから赤児に戻った面々には、何事にも時間がかかるものであります。

今回特筆すべきことは、37年同期だけではなく、昭和32年から平成11年入部までの実に40年以上の幅がある「北馬同窓」の集まりとなったことです。先輩諸兄の寛大さは兎も角として、若い後輩諸君が年寄から逃避せずに参加してくれたこと、本当に有り難く感謝します。

さて、前書は置いておき、順を追って報告します。

18日の宿泊と大宴会の場は、「恩田 RP」から10キロほどの藪塚温泉「ホテルふせじま」を恩田先輩が無理を押して予約してくれました。まず3台の車で参集の第1陣が、太田市内のイタリア料理店「ピア」に集結して昼食。集まったメンバーは、尾崎哲浩(H12年卒;東海村在住)、杉山賢治(H14年卒;東京・港区)、吉川幸江(H15年卒;川崎市)の若手OB諸君と、帯広から北斗星で参上の小栗紀彦、英国一名古屋→目黒を経由した近藤喜十郎、八木澤守正夫妻、そして梶山泰嗣夫妻の9名でありました。それぞれ好みのスパゲッティーを食した後、「馬学」を選んだ尾崎、杉山、吉川、近藤、八木澤の5名は「恩田 RP」へ。残る小栗、八木澤夫人、梶山夫妻の4名は「美学」を選択し渡良瀬溪谷草木ダムの畔りの「富弘美術館」に向かいました。

「恩田 RP」に向かった5名は、恩田苑長管理の乗馬10頭、シエラントポニー「木の葉」と生まれて一カ月の「木の実」の親子、そしてスタッフの皆さんに温かく迎えられました。そこへ、玉沢一晴先輩(S33年入部)が太田駅に到着との連絡が入り、八木澤が出迎えに行き、騎乗予定メンバーが揃いました。恩田苑長ご指導のもと鞍の感触を楽しみ、久しぶりのキツイ運動に汗と顎を出しておりました。また特別メニューとして障害飛越もトライさせていただきました。10月の「さいたま国体」の馬術競技運営を担当された玉沢先輩は壘鏢と、ヤング OB は流石手馴れたお手並みを披露されましたが、同期の中には落馬シーンもあったとかなかったとか。とにかく、本当に楽しい本格的な騎乗になりました。

〔若い後輩から一言:とは言いながら、本場で馬学研修中の先輩、毎週末に乗馬クラブで汗を流している先輩たちは流石でした。鞍上の功より年の功、驚きと共に、社会人になってからも馬乗りに

活きている姿を見習わなければと思います。]

一方、美に憧れし4名は、23歳で手足の自由を奪われた星野富弘画伯が絵筆を啜えて描いた繊細、率直な水彩画に圧倒され、陶芸家小栗の絶妙の解説が味わいを一層濃くし、心洗われる思いでホテルに向かいました。

・ホテルには既に筑波の藤井毅が先着しており、続いて「恩田 RP」からの7名が合流、そして、JRA 馬事公苑の「学生選手権」から直行の大場善明先輩(S32年入部)が藪塚駅から長閑なたんぼ道をウキウキと歩かれて到着、16時半頃には13名が集合と相成りました。関東平野を一望できる屋上の露天風呂やサウナ、そして風呂上りのビールなどに癒されて、暫し寛ぎの時を過ごしながら大宴会の時や遅しと心が浮き立つのであります。

やがて、土曜出勤を早々に切り上げた松尾英彦夫妻が東武特急「りょうもう」にて到着し、15名が揃ったところで、いよいよ大宴会の開始となりました。

馬術部には昔より「1年砂利、2年畜生、3年鬼、4年神様、5年教祖様」という掟がありますが、教祖様より偉い人を何とお呼びすればいいのでしょうか。その“伝説の人”大場先輩にご挨拶を戴き、恐れ多くも砂利にも達しない近藤が乾杯の音頭、後は飲めや食えやでワイワイガヤガヤ、年の差なんか関係なく盛り上がりました。そうこうするうちに、生憎の猛吹雪で中標津空港に1晩足止めを食らった別海の高橋昭夫が到着、折角東京に来ていながら音更の高野文彰が所用で参加できなくなったため、16名が勢揃いと云うことで改めて乾杯、上州牛の柳川仕立てに舌鼓を打つうちにあっという間の2時間が経過してしまいました。さあ楽しい2次会へと腰を浮かせたとき、東京 OB 会活性化に情熱を燃やす大場先輩から規約制定の説明があり、配布された規約案の検討を求められましたが、心ここにあらずの面々は、即「異議なし、了解」でシャンシャンシャン。大場先輩、申し訳ございません。自宅に戻り検討しましたが、「異議なし、了解」であります。そして、一次会は大場先輩愛用の大型カメラによる記念写真撮影でお開きになった次第です。



さてさて、待望の2次会開始、高橋持参の花咲ガニ登場、あらかじめ持ち込み黙認の了承を得ていましたので、堂々と八木澤シャンパンで再度の乾杯、近藤ボジョレヌーボでまた乾杯、恩田先輩差し入れの地酒“群馬馬”でもう一度乾杯、尾崎君持参の郷里の銘酒“銀嶺立山”で重ねて乾杯とくれば、もう際限なし……。参加者一同、昔からの顔見知りみたいになっていましたけれども、ここでやっと自己紹介の始まりとなりました。

若い順に近況報告を交え自己紹介を進めて参りましたが、ニコニコ破顔の大場先輩、「うんうん」納得の玉沢先輩とは対照的に、先輩約1名のうるさいこと甚だしく、「恋人いるか？」だの「亭主といつ知り合った？」だの、2年前の同期会「菅野温泉」での黒澤道雄検事を彷彿させる厳しい追及がありました。大きなボロも出さず何とか全員無事切り抜けたこと、何よりでございました。ここで特筆すべきは版画家藤井、グリム童話などを素材として緻密に彫り上げた作品を惜しげもなく全員に配布したとき、酒が止まり、見入り、質問が飛ぶ、2次会唯一の香り高き「時」でありました。

その後は例によって黙々と花咲ガニを食べ続ける者、ひたすら呑み続ける者、コックリしながらも自分の出番をしっかりと押さえて発言する者、馬術論に口角泡を飛ばすものと様々でしたが、やがて松尾の出番となりました。大塩平八郎の鯨獲りでお茶を濁そうと逃げを打つもそうは問屋が卸さず、一同に嘸し立てられ、急速カニフォークを刃に見立ててご存知筑波山コンクール準優勝に輝くガマの油売り、ますます円熟味を増した芸にヤンヤの喝采と相成りました。

23時を廻ったところでお開きと思いきや、「都ぞ弥生」に始まる寮歌祭、何曲蜜声を張り上げたのでしょうか、いつ宴が終わったのでしょうか、女性陣は早々に温泉に行ってしまったようですし、とある部屋では3時まで馬・馬・馬の議論が続いていたとか。

[若い後輩より二言目：皆で肩を組み円陣を組んでの“都ぞ弥生”。深夜の温泉街に美声(蜜声?)が響き渡っていました。理性のある奥様方は、「静かに、静かに」と押さえようとしていましたが、すでに全頭放馬状態、押さえることができません。時が過ぎても、世代が違っても、“自分は馬術部の一員なんだ!”と熱いものを感じたひとときでした。しかし、仮に私が馬術部に入部しておらず、自分の父親のこんな姿を(深夜、酔っ払って、歌を謳う……)見たらショックです。翌日、奥様方から叱られなかったか、息子世代としては心配です。]



明けて19日、北に赤城の噴煙、露天風呂から富士山が望める快晴に恵まれました。

起床時間は思い思い、早朝の露天風呂を楽しむ者、出発ギリギリに食堂に飛び込む者と自己都合でいろいろでしたが、全員9時半までに「恩田 RP」に向け出発となりました。

「かなやま森林馬事公苑」は、整備された中馬場と小馬場、現在整備中ながら池が掘られ7~8個の障害が配置された大馬場、さらに造営中の上馬場があり、23頭分の厩舎・鞍置場・事務所を備えた広大な施設です。まだまだ裏山があるので、拡充が可能と聞き、一同は豊かな気持ちになりました。繋養馬匹は、「タクサス(いちい)」、「カメリア(椿)」、「エルマーニ(ダケカンバ)」、「プルナス(桜)」など、それぞれ木の学名の付けられた苑長の手柄を彷彿させる素直に調教された10頭にポニー親子を加えた自馬12頭と預託馬3頭、スタッフは恩田苑長、主任インストラクターの板野さん、サブのご子息恩田正和さんと中村さんという4名の布陣です。施設の詳しくは正和さん管理のホームページ [<http://www.sky.sannet.ne.jp/mas-onda/>]をお訪ね下さい。

いよいよ、最大イベントの乗馬会です。乗りなれた吉川(カスターア)、杉山(プルナス)、尾崎(アビエス)、近藤(マグノリア)、高橋(メイプル)、八木澤(ジャグランズ)の6人馬が中馬場にて恩田苑長号令のもと部班運動で汗を流しました。梶山は小馬場で道産子「どんぐり」での各個乗り。落馬しても地面が近いとの安心感からか、馬場狭しとばかり速歩(側対歩ではない)で右手前・左手前、ご満悦でありました。その後、お許しが出て全員7頭が揃って裏山の外乗に出ると、眼下に見渡す太田の町並みや日光連山の景観に年を忘れ喚声を上げたものです。その間、松尾・八木澤・梶山のご夫人連は恩田苑長の特別なお計らいで、最も気性が柔和な看板馬タクサスに乗る機会を与えていただきました。曳馬で何回も馬場を廻っていただいた板野主任に感謝いたします。



そろそろ手仕舞いの段になって、それまでじっと我慢の大場先輩、やおら30年代の馬装を取り出し、「並足だけね」と断ってセフ半血のプルナスに跨り悠々と中馬場を闊歩する姿、さすが北嶺号にて国体優勝の貫禄でありました。〔若い後輩より三言目：二日間騎乗させて頂きましたが、すべて癖のない素直な馬ばかりでした。新馬でもあれほど従順なのは驚きです。とは言え、自分は数ヶ月ぶりの騎乗で脚の甘さ、座骨のぶれから、内へ内へと入られて反省です。前後の騎乗者には大変ご迷惑をお掛けしました。この場を借りてお詫びします。ゴメンナサイ。〕

太田市は、新田家の所領で、隣国足利家との厳しい戦いに明け暮れた古戦場でもあります。乗

馬のあと、「恩田 RP」の後背地に当る「金山城址公園」を散策しました。金山城は南北2キロ、東西1キロほどの山全体を見事な石組みで要塞化したスケールの大きな新田家の山城であり、頂上近くにある赤城の伏流水が湧き出す2つの池に驚かされます。今は無念の義貞を祭る新田神社となっている天主閣跡からは、北東の眼下に敵である「足利の荘」総てを見渡せ、東に筑波山、南に関東平野、西に秩父連山と浅間山、さらには富士山、そして北には赤城の山なみが360度のパノラマで連なる絶景の場でもあります。

午後から霞みがかかり「絶景かな」とはいきませんでした。遠き中世に想いを馳せながら空腹を覚えて下山、途中呑龍様として知られる大光院を右に見て太田市内のそばや「たかだ庵」に。

一同、店主(恩田先輩の同級生)推薦の上州名物「大根肉汁つけ蕎麦」を「旨い旨いと」流し込み満腹、ヤング OB には足りずとお代わりをする者も。やおら不肖幹事が、食事中の店内客人の迷惑顧みず大声で会計報告と精算を済ませ、余った1万円を東京 OB 会への賛助金とすることを強引に即決、ここで無事解散となりました。



近藤 玉沢 高橋 松尾 尾崎 小栗 藤井 梶山 杉山
Mrs 梶山 Mrs 松尾 Mrs 八木澤 大場 吉川 八木澤 恩田〔敬称略〕

北馬を通じた会合の次第、急ぎ足で記して参りました。先輩、後輩の皆様、恩田 RP スタッフの皆様、本当に有難うございました。都合で参加できなかった同期諸兄姉を加え、次回、恩田 RP での賑やかな再会を楽しみにしております。

終わりに、写真を担当して戴きました大場先輩から頂戴した手紙の一節を紹介して、筆を置きたいと存じます。

『私とは初対面の方、何十年ぶりかで再会できた仲間など、昨日別れた友のごとく会話が続く雰囲気はどういうことなのでしょう。思わず時間よ止まれと叫びたい深夜の熱弁。翌朝の赤城山麓を包む朝陽に、あの手稲の山並を想い描いたのは私だけでしょうか。40年前、ポプラの梢が切り裂く吹雪の朝も、新緑むせ返る百花繚乱の古径にも見上げたあの山並「手稲」の峰々を再現し

てくれておりました』

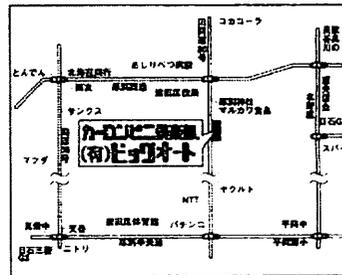
北大馬術部昭和37年入部同期会
かなやま馬事公苑・藪塚温泉会合
参加者一同（文責：梶山泰嗣）



カーコンピニ倶楽部

愛車のキズ・ヘコミを

最短**45**分～で直しちゃおう!



カーコンピニ倶楽部

(有)ビッグオート

Tel.011-888-6888

Fax.011-886-2042

〒004-0871 札幌市清田区平岡2条2丁目1番55号

営業時間：8:30～20:00 休業日：日曜日・祝日（日・祝受付のみ可）



1955年に農学部畜産学科を卒業させていただいてから、もう50年も経ってしまいました。1951年秋に馬術部が復活し、札幌競馬場に通いながら、古谷主将の下練習をしたことが昨日のように思い出されます。当時練習と言えどもっぱら部班での運動が多く、各馬の距離間隔を確りと取る事に重点が置かれていましたし、鑑上げもずいぶん多かったように思えます。人は壊れても鞍だけは頑丈で分厚い革で出来た軍鞍で、幾度となく膝の内側やお尻の皮を剥いた記憶があります。乗馬ズボンも今のようなフレキシブルな物は無く、良い乗馬ズボンを作る事は貧乏学生には大変なことでしたし、長靴は誰にでも履けそうな軍靴が有れば良い方でした。

ないないずくしは終戦後の世相でもありましたが、一番困った事は1957年春に古谷主将以下、斎藤善一、後藤義英、下飯坂、永井等の種々な経験をお持ちの諸先輩が卒業をされ指導者が居られなくなった事でした。岡田光夫先輩にコーチをお願いして朝の練習を何とか続けていたのが実情です。

当時は参考になる書籍と言えば手帳サイズの「馬術教範」（それもかなりボロボロの）だけのような状態で、古本屋で「フィリス氏の馬術」を見つけたときには感激して読んだような気がします。いかんせん馬術書の内容は、読むものがある程度その域に達しないと理解できないような所があって、やはり頭でっかちでもだめかなと思いつつ思い悩んだ事を思い出します。

1958年秋からは翌年行われる第9回国体のための貸与馬用馬20頭が、札幌競馬場に繁養され元橋、荒川の両調教師が赴任されて、多くの場合この両先生の指導を受ける事が出来るようになりました。私の場合は主として荒川先生からの指導でしたが、1年足らずの間に全国から参加される各府県の代表に、そこそこ満足してもらえる馬に仕上げるために、人の練習よりも馬に悪い癖をつけない、口向きをよくする、等調教が主で人の訓練は従といった具合でした。当時はそのことについて少し不満も聞かれましたが、私にはとても貴重な体験になったと思っています。

そこで現在の部員のかたがたに考えて欲しい事は、2年生の後半から3年生になった頃からは、自分の練習もさる事ながら、馬の調教をする、少しでも乗り易い馬にする、口向きの良い御し易い馬にする事に全神経を傾けて欲しいと言う事です。その為に最小限必要な要件は、1)馬上でバランスが良く取れていること、2)その結果拳がそれぞれ自由に動かせ、体の他の部位の動きと独立して使用出来ることが必要になりますし、馬の口に軽く且つ柔らかく当たる事ができるようであれば理想的です。3)脚による推進とその操作が(当然拍車も含めてですが)腹帯の直後とやや後方の2箇所的確に操作できるようになっていれば良いと思っています。

さてそれでは調教はどのようにすればよいのかを一口で表現するのは大変な事ですが、

先ずは良い口向きの馬を作ると言う事です。口向きがよいと言う事は、馬がハミを受けて (on the bit) 控えれば止まり、右を控えれば右に回転し、左を控えれば左に回転する、これらの動作がスムーズに行けば問題は無いわけです。然しながら馬には右が固かったり左が固かったり、下顎が固かったりとそれぞれ特有の硬さがあるものです。これらの硬さを調教によって少しでも少なくし、騎手の手綱や脚の操作に少しでも抵抗がなく従ってくれるようにするのが調教と言う事になります。

具体的には馬場内で運動を始めたならば軽いハミ受けで活発に動かせながら、直径10～12mの巻乗りを左右にする事になりますが、全くの新馬でなければ同じ場所で続けて2回行ってより正確な円形を蹄跡に残すようにするのが良いと思っています。この運動は常歩、速歩、駈歩で確りする必要があります。硬さがあつたりスムーズさに欠ける側は柔らかい側の2倍やることが求められます。初期にはこうした運動を中心にしながら、馬の口に軽く接触する事に心が、馬が大きな歩様で運動できるように心がけなければなりません。

名人達人であればこれだけでも馬は良くなってくれるのかもしれませんが、更に馬に軽快さを求めよりハンデーな馬にするためには、二蹄跡運動は必須の物だと思っています。この運動は決して難しい物ではありませんが、脚と拳(手綱)の共同の操作が必要になります。先ず馬に対しては片方の脚の操作(腹帯の直後に拍車も含めて)によって馬の後軀を外側に動かす事から始めます。停止の状態で行えば前脚旋回になりますが、常歩をしながら行えば肩を内へをしながら巻乗りをする事になります。歩度を伸ばして行えば大きな巻乗りになりますが、馬を活発に前進させることが肝心です。常歩でスムーズ動けるようになったら緩徐な速歩でも始めて、脚の操作にスムーズに従って腰を外側に振ってこれるようにであれば、馬場の柵に沿って行い、直行進をさせながら肋の屈曲を求めるようにします。この際軽く外方脚をやや後方(10cm程度)に操作して外方脚を覚えさせるのが自然のように思っています。これら内方脚の操作の時には当然ですが内方の手綱を控える事が必要ですが、大事な事は内方の脚を確り使う事です。

柵に沿って肩を内へがスムーズに出来るようになれば、自然と腰を内へも出来るようになると信じています。二蹄跡運動の効用は脚にたいしての従順性を求めると同時に顎の柔軟性が向上し、ハミ受けが柔らかくなっていくことです。特に馬場馬術をすると言う事ではなく、乗り易い口向きの馬を作る事は障害飛越でも障害間の走行、誘導が楽になって飛越に全神経を使う事が出来るのです。

馬場に入って準備運動が出来たら常歩、速歩での二蹄跡運動、そして駈歩での大小の巻乗り、輪乗りを確りとしてから低障害(80～90まで)の飛越を30～50個して、必要な時は120～130を数個飛越するといった様に運動をパターン化したらどうかと思っています。

思いつくままを書きましたが、ミュージーラーの本や、今村馬術を始めとして多くの人の著書もよく読んで欲しいと思っています。

部報から学んだこと

中田一紀 平成9年卒

僕は現役の頃、部報を読むのがとても好きだった。学部の頃は教科書よりも部報を読んでいる時間の方が多かった。その部報が50号という記念すべき号に原稿を依頼された。そこで僭越ながらも僕が部報を読んで学んだことや参考にしたこと、感銘を受けたことについて書きたいと思う。勝手な解釈や個人的な思い入れが強くなっている点をご容赦ください。

“いま、スターライトは”（部報37号特集）

僕が新入生の頃、ポプラ並木のそばの厩舎に栗毛の馬がいた。穏やかだけれど繊細そうで気品のあるその馬がかつて長屋さん（昭和53年卒）とのコンビで全日本や全日学で優勝を果たした馬であることを知ったのはこの部報を読んだことがきっかけだった。これを読んで、長屋さんのスターライト号の調教報告（23号）をどうしても読みたいくなりあちこち探したものだ。馬術部に入って間もない新入生にぜひ読んで貰いたいし、また上級生になってチーフになったときに読み返して貰いたい文章である。

“競走馬から乗馬への変化をどうするか。”（部報31号 北稜号調教報告より）

部報に興味を持つようになってから、長屋さんがOBになって北玲号をはじめ北駿号など多くの馬を調教してきたことを知った。長屋さんの調教報告は読み応えがあるものばかりだが、この北稜号の調教報告にはJRAの水野さんが長屋さんに宛てた手紙が掲載されている。‘競走馬をいかに乗馬として調教するか’について書かれたものであり、最後は“大障害をねらえ。そのための馬なら、栗東にいるかぎり見つけるつもりでいる。とにかく上へ上へである。元気でな。”と締めくくられている。

“馬は、臆病であるが故に、非常に賢い動物である。そして人の心を見抜くことができる。いい加減な気持ちで接していると、必ずしっぺがえしがくることを決して忘れないでほしい。人とも馬とも真剣勝負でつきあうことが、成功の鍵だと思う。”

（部報36号 パシオンM号調教報告より）

水野さんが栗東から送り込んできた馬でおそらく最も潜在能力の高い馬はパシオンM号だったのではないかと思う。この馬の栗東での初期調教のビデオがまだ部室にあるはずなのだがいまもあるだろうか？当時の調教者の加藤姉（平成元年卒）は長屋さんが馬術部で調教した北玲号で大活躍（全日学総合団体3位、個人5位）した方だが、その北玲号の調教報告とともにこの調教報告にも大事なことが書かれている。昨年の北慧号の調教報告（49号）で“長屋さんと加藤ゆうこさんの文などは必読である”と木村弟（平成16年卒）は書いているが、彼が活躍した理由のひとつがわかる。

“僕には馬乗りとして致命的にかけていたものがある。それはうまく言葉では表せないが‘負けん気の強さ’、‘馬に対して妥協しない姿勢’、‘厳しさ’のようなものであるといったらおわかりいただけるだろうか。”

“山口兄は馬に対して絶対に妥協を許さない人で、時にはやりすぎでないかと思うほど強く馬にあたることもあったが、それでも馬がふてくされなかったのはそれ以上によく馬を誉めることが出来ていたからだと思う。”

(部報49号 北鳳号調教報告より)

その木村弟が北鳳号の調教報告でこう書いている。馬術部ではとことん人と馬との関係を考えさせられるが、そんなときにこそ部報は参考になる。彼の文章もまた必読だと思う。

“あなた達はもうすぐ北大馬術部所有の馬のただひとりの調教責任者となります。”

(部報31号 北耀号調教報告より)

馬との関係について考えるとき、山田兄(昭和61年卒)の書かれた文章は必読だと思う。これから馬配にあたる下級生に向けてチーフとしてどのような心構えが必要か書かれている。この文章に説得力があるのは、山田兄が騎乗していた北耀号という馬体面や精神面に不安がある馬といかに真剣に向き合ってきたかが伝わってくるからである。また、この調教報告には‘愛撫調教’という考え方が出てくる。‘愛撫調教’の考え方についてはぜひ本文を参考にしてほしい。今の現役がおおいに参考にすべきものだと思う。

“まず大切なのは、馬に障害物を越える喜びを教える。”

“調教全般に対して言えることだが、特に障害調教に関しては過度な要求をせず、長い月日をかけて馬に納得させながら行う。馬に障害に対する恐怖心を与えてしまったら取り返しのつかないことになる。”

(部報41号 北帝号 調教報告より)

最近の馬術部ではえさを主体とした調教方法が行われてきた。昨年の部報にも詳しい経緯が書かれているように、松原兄(平成7年卒)が未熟な技量である現役だけでもできる調教方法を確立するために、当時の畜大の調教方法を参考にして取り入れたものである。

馬に騎手に従う喜びを教えるとともに調教の過程で馬に不信感を決して与えない。松原兄の考え方は本質的に‘愛撫調教’と同じものだと思う。ただ、それをより明確にするためにえさを効果的に利用しているのであって、ただ単にその方法だけまねしているのでは意味がない。練習が単なるルーティンワークにならないようにしなくてははいけないし、その本質的な考え方を下級生に継承してほしい。

“‘愛撫調教’と同じようなことですが、個々の運動についてではなく、運動の進め方に関して言えば、馬に自信を付けさせるような運動の進め方をすべきだと思います。少しでも馬が自信を失いかけていると思ったら、馬が自信を持っているレベルまで運動内容を下げて

やる必要があります。しかし、いつまでたっても同じレベルでとまっていたのでは、すぐに年をとってつかいものにならなくなりますから、少し不安を覚えるけどやれるような気がするというステップを絶えず追い求めていけばよいと思います、不安があってもそれを乗り越えればまた自信へとつながっていくのですから。こうして自信をもたらされた馬は本当に恐ろしい程勇敢になります。”（部報31号 北耀号 調教報告より）

山田兄の調教報告にはこうも書かれているが、これもまた大事な考え方だと思う。

“調教段階を高めていく中で何らかの壁にぶつかった場合には、一つ手前の段階に戻す。戻してうまくいって、馬が落ち着きを取り戻せばまた挑戦する。しかし一段階レベルダウンしても、その運動は落ち着いていれば難くこなせるのに、興奮してしまっているのにできないという事態が考えられる。そのような場合は、もう一つ前の段階に戻す。まだだめなら、さらに易しい段階にする。そうやっていくら前の段階に戻してもだめな場合には、始めに設定した基礎段階までレベルを下げる。そして基礎段階の運動を反復する中で、馬を落ち着かせるとともに騎乗者自身も落ち着きを取り戻し、また徐々にレベルを上げていくという感じである。”

“何だ当たり前のことじゃないかと思うだろうが、この最後の基礎段階にまで戻すと言うことに気付かないことは、結構多いのではないだろうか？”

（部報39号 北凌号 調教報告より）

同様の考え方が、より具体的に横山兄（平成4年卒）の北凌号の調教報告に書かれている。この中では‘基礎段階の運動’が定義されていて、その‘基礎段階’を積み重ねていくことが調教であると述べられている。横山兄の調教報告（部報36号～39号）は具体的で参考になるものばかりだが、特にここはぜひ読んでほしい部分である。

“新馬と接するときはあせってはいけない。一つのことを教えるには時間がかかる。馬の一つ一つの反応に敏感でなければいけないが、それに一喜一憂してはいけない。‘まあ、そんなこともある’程度に大きく構えられる心の余裕が必要であると感じた”

（部報37号 ファストバロン号とともにより）

馬との関係についての考え方に戻るが、平山姉（旧姓）（平成3年卒）が書いた調教報告にはきかない馬であったバロンとどう向き合ってきたかが書かれている。馬に携わる人間には、父性ともいうべき‘厳しさ’とともに母性も同時に要求されることが伝わってくる文章だと思う。また、長屋さんがバロンに調馬策を教えるくだりには学ぶものが多い。

“以下で何度も触れるかもしれないが、馬と人が付き合っていく以上、してはいけない事については、‘馬に分るように’教えなければ行けないし、分るまで根気よく教えていかなければならない。時には1度馬がおびえるくらいしかなければいけないし、馬をいじけさせるのも良くない。”

“これ同様、誉めるのもやたらめったら誉めればよいというのではなく、その、強弱、タイミングが大切になってくる。”

(部報38号 ファストバロン号調教報告より)

‘叱る’と‘怒る’の違いは良く指摘されること(いうまでもなく‘叱る’ときには相手に何が悪いかわかり理解させなければいけない)であるが、なかなかうまく‘叱る’ことは難しい。また、馬を誉めるときには何かしらの満足感を与えることができればならない。これはとても難しいことだが、これができるかできないかが馬との信頼関係をつくれるかどうかを大きく左右する。横幕兄やその後バロンに騎乗した谷地姉(平成8年卒)はとても上手にそれができていたと思う。僕は谷地姉から引き継いでバロンに騎乗することになり、できるだけバロンに接しているときにはそれを意識していたつもりだったが、実際にできるようになるにはかなりの時間を必要とした。しかし、それができるようになるにつれて競技成績も向上し、最上級生のときには全日学の二回走行の権利を獲得し、団体出場に貢献することができた。そのときに感じたことは馬にいかにか自分が真剣であるか伝えられるかどうかである。前述の加藤姉の言葉を実感した。

“信頼関係という言葉をよく耳にするが、これほど漠然としたものはないし、また僕らにとって、これほど重要なことはないと思う。この根柢のなさ、危なっかしさは、人間が馬の態度からそれを察するよりないことだろう。”

“馬を愛することには無限の可能性があるが、しかし、人間にはあくまでも部員としての制約があり、馬には部馬としての制約がある。信頼関係がいかにか強くなろうとも、個人の問題であり、クラブにとっては、練習、試合の場で実現されなければ意味を持たない。”

(部報24号 卒部にあってより)

これは三好兄(昭和54年卒)がある馬の死に直面したときに考えたことが書かれた文章からの抜粋である。三好兄には、全日本学生選手権に出場するときに無理を言って御自宅に宿泊させていただいたことがある。その年の全日学の直前の経路周りのときに馬運車の横転事故があり、ファストバロン号と北旋風号が出場を断念するということがあった。その話を三好兄にしたのだがきつと複雑な思いで聞いていたのだと思う。事故の当時はもうだめかも知れないと思い、三好兄と同様(であろう)葛藤があったのだが、不幸中の幸いにもバロンも北旋風も順調に回復しその3年後、全日学の二回走行に団体出場を果たすことができた。そのときに、三好兄が応援に来てくださっていたことが印象深い。

まだまだ書きたいことはたくさんあるのだが、この辺でやめておこうと思う。このほかにも参考になることは部報には山ほどある。特に騎乗技術に関して言えば、具体的かつ実践的なことが多く書かれているのだが意図的に馬との付き合い方や調教の進め方に焦点を当てたつもりである。それは、どのような騎乗が正しいかは部報を読んだだけではわからないから

である。ある馬で成功した騎乗方法が必ずしもほかの馬で良い結果をもたらすとは限らない。あくまでも実際に馬からの反応を見て自分自身で判断するしかない。正しいか正しくないかは馬が示してくれる。ただ、その参考となるものは部報にはいくらかも転がっている。

それからどうしても現役のときに読んでいた部分の記憶を頼りに書いたので、最近の部報からあまり参照することができなかった。もちろん後輩の書いた文章にも参考になるものはたくさんある。ただし、最近では調教報告があっさりしたものが多い傾向にあることが気にかかる。昨年の部報のように読み応えのあるものを期待したい。(そうはいつでも僕の調教報告はまともなことが書いていないので人のことはいえないのだが。)

最後になりますが勝手な引用や解釈をしたことを著者の方々にお詫びいたします。これを読んで少しでも現役が部報に関心を持って原文を読んでもらうことを期待しています。

【活動報告】

平成16年度の主な活動は以下の通りです。

4月	
5月	お花見会・・・・・・五稜郭にてお花見
6月	代替わり・・・・・・鈴木前主将から生田現主将へと代替わり <i>函館競馬開催</i>
7月	北日本選手権・・・・鈴木（4年）出場 <i>函館競馬開催</i>
8月	<i>函館競馬開催</i>
9月	合宿・・・・・・函館競馬場乗馬センターにて五日間の合宿
10月	新人入部・・・・・・移行生新規入部
	山下杯（酪農大）・・鈴木（4年）80cm 障害、 西田（4年）生田（3年） 初心者障害70cm、 西岡（4年）宮下（3年） 岩崎（3年）ラハラシュ（3年） 竹下（3年）三古谷（3年） ジムカーナ競技に出場
11月	学祭・・・・・・団子屋「ハイジ」を出店
12月	乗り納め会・・・・今年の乗り納めとして乗馬センターにて開催

北海道大学水産学部馬術部

主将：生田 萌

【活動内容】

今年の北水馬術部では移行生を含めた3人の本学馬術部生が加わり、今まで初心者一色だった北水馬術部に新しい色が付きました。本学馬術部からの移行生は北水馬術部への刺激になるとともに、本学馬術部との関わりが深まったの感じ大変嬉しく思っております。

活動は JRA 函館競馬場乗馬センターにおいて、朝練を中心に先生のご指導を頂きながら行っております。今年は9人が大会に出場するなど、それぞれが目標を持って部活動に励んでいます。

今後、北海道大学馬術部の益々のご活躍をお祈りすると共に、この北水馬術部をどうぞ暖かく見守って下さいますよう、よろしくお願ひ致します。



卒部にあたって

★ 馬場 絃子（馬匹、獣医）★

馬術部での4年間は自分にとってとても思い出深い貴重な時間です。

ここで馬たちといろいろな人と出会ったことで、今まで感じたことのない幸福感を得ることもでき、ぶつかったことのない問題にどうしようもなく悩んだこともあり、とにかく良くも悪くも良い経験になったと思います。自分という人間について冷静に考える場でもありました。

ここにきてつくづく感じるのは、コミュニケーションの重要性です。ドンパと、先輩方と、後輩と、OBの方々と、もちろん馬とも、自分をしっかり持ってしかし意見を押し付けるのではなく自分の思いを伝え、返ってくる反応をしっかり受け止めて考えることが大切だと思います。難しいけれど、避けてはいけないほんとに大切なことだと思います。

馬術部生活はたくさんの人・馬との関わりの中で成り立っているのですから。最後に、OB・関係者の皆様、いろいろとお世話になりました。ご心配・ご迷惑もたくさんおかけして、すみませんでした。本当にありがとうございました。

ドンパへ（といっても2人になってしまったけど…）、お互い笑って卒部できて、今とても幸せです。いろいろごめんね。私は私の代で、よかった。ありがとうね。そして、後輩のみんなへ、本当にありがとう。おかげで楽しく過ごすことができました。これからも馬たちとともにみんなで明るく楽しく、そして強い馬術部を作っていくてください。

馬術部に入って、よかったです。

- 冷えピタ似合っていました。
- おやつ好き。
- 朝はとっっても眠そうです。
- めんどろみが良いです。
- とある合宿先で馬場姉に異変が??

今では良い思い出です。4年間お疲れ様でした。

★ 前野 伸策（前主将・北日幹事 殿）★

部と離れてから本当に思うのですがこの部活生活、単純なようで濃密な時間だったように思います。馬たちとの時間、楽しかったです。最後に馬術部でお世話になりました皆さん、本当にありがとうございました。

- シンコウと麻雀と競馬に全てをかける。

—麻雀と競馬の話をしてる時は目が輝いてる。

—あなたにはかないませんよ。

—頑固

—今年は酔いつぶれた時の前野兄が見れなくてちょっと残念。今度何か飲む機会があればぜひ誘っていただけると嬉しいです。(合オンとか)

Let's Get a License

- ☆ 毎日入校OK
- ☆ 日曜・祝日も教習&検定実施
- ☆ 朝9時～夜10時まで教習
- ☆ 各方面無料シャトルバス運行



普通車・自動二輪・大型特殊

セット で取ればさらにお得♪♪

<普通自動車・大型特殊・普通二輪・大型二輪>



北25条



北海道中央自動車学校

札幌市東区北25条東1丁目1-17

TEL 711-3344

<http://www.hokkaidochuo.co.jp/>



馬場姉と北凌号



前野兄と北翔号

★ 猪狩 舞子(前ビデオカメラ、企画 水産) ★

馬術部に入って色々ありました。楽しかったことやつらかったこと。一般の人たちができないことをしてきました。とても貴重で、人生の豊かさとはこういうことから出てくるものかと思ったこともあります。特につらいこと。自分がとても甘いということをつきつけられるつらいことはたくさんありました。たくさん失敗しましたし、たくさん後悔しました。高校のころまではそのようなことをあまり自覚した覚えはなく(単に記憶にないだけかもしれませんが)それゆえ初めて一人になってあのころは温室に住んでいてのだと思いました。そこからぬけきれていなかった私はなあなあと暮らしていました。そのことをきっかけに寮の人とけんかして「目的のないやつは死ぬ」とまで言われ落ちこんだころがあります。しかしながら、馬と接していて楽しいことや感動したことがあると、生きていて良かったと思い、そしてそれらとの出会いを望みます。私にとっての生きる理由とはそこにあると思えました。そのたのしいことや感動は共に活動した部の先輩方や同級生、1年生そして馬たちによってもたらされたものでした。ささいな笑い事でも、北日の時のように大事を成し遂げたことに協力できたことも私にとって大切な人生の1ページでした。だから今の現役の人たちも、楽しいことがたくさんあるように仲良くやってほしいと思います。すばらしい時間を与えてくださってありがとうございました。OBの人たちや部員の人たちにはとてもお世話になりました。本当に感謝しています。最後に、猫のクロについては本当に残念です。あの時、閉じこめておいてでもすればよかったと後悔しています。もし帰ってきたら、その時はよろしく願います…帰ってこないかなあ…。

★ 坂井 慎哉(前衛生・記録 水産) ★

水産ということで、同輩とひとつ上の先輩よりも、一足先に卒部することになりました。長いようで短い一年半。多くのことを学び、様々な思い出をいただきました。楽しかったこと、感動したこと、ときには後悔したことも…。そういった経験が今日の、そしてこれからの自分を構成していくという事、決して忘れてはしないでしよう。

先輩方には、技術面以外のこともたくさん教わりました。今後も良いアドバイスをいただければ幸いです。後輩たち、君たちが入ってから部がとても明るくなったと思います。羽目を外し過ぎない程度に、部を盛り上げていってね。同輩のみんな、選手として一緒に全日行きたかったな。今後も、良きライバルとして能力を高めあい、良き仲間として協力しあって行ければ素敵ですね。

僕の実家は札幌なので、たまに部室に現れたり、試合を見に行くこともあるかと思えます。そのときには暖かく迎えてやって下さい。ということで、今までお世話になった皆様方、本当にありがとうございました。

部員紹介

3年目 (左から、前田兄、日野兄、小阪姉、利根川兄)



★ 小阪 梨奈(主務 農) ★

農学部生物機能化学科作物栄養学講座の3年生です。

- 裏番
- 馬術部執権
- 主務の仕事をソツなくこなし、廻りの面倒も良く見てくれる頼れる姉貴分です。
- 一言一言がきついんですけど…あと一年お互い頑張りましょう。
- 冗談がお上手です。
- ピノさんで遊んでる気が…。

★ 利根川 正明(バイト関係、飼料 農) ★

もう最後の年になってしまいました。モチベーションはあがる一方です。
悔いのないよう頑張ります。

- まだまだ幼いです
- 飼料学を落としてしまった…。
- 語り始めると長くなるが、不思議と聞き入ってしまいます。
- 後輩想いの様で、でも時にはわがままで。たまにハラハラさせるけどでもやっぱ憎めん様な性格やね。
- 馬術バカです (+)
- ビデオに夢中

★ 日野 恵介(馬匹、車輛 獣医) ★

最近生活観が変わりました。

その1 日々本を読むようになった。

別に深い意味はありません。現実から逃げてるだけです。

その2 日々自炊するようになった。

貯蓄が底をつきそうなので節約中なんです。下級生の皆さん、
これ以上は期待しないでね。

その3 その分勉強しなくなった。

だめだこりゃ。

ーピノッティー

ー年齢詐称疑惑

ーピノタージュ、P i n o, ビーノ 大好き

ー逆上がり教えましょうか？

ー体温計割りすぎ。

ーピノケースケ 牡 29歳

ーなごみキャラ？

★ 前田 晋也(主将、北日幹事 農) ★

馬の上にも三年。

そろそろ、ほんのちょっぴりでも、何か、分かるようになってくるのかな？

ーまじめな畜産学部生らしい。

ーいつもベビースターラーメン・チキン味。

ー眉毛がりりしいです。

ーガッツだぜ！！

ー営業うまそう。

ー例え好き

2年目 (左から、久保兄&イカッション号、関田姉&北旋風号、
一色兄&北隼号、林兄&北翔号)



★一色 真明(会計、後援会 薬) ★

最近少し positive thinking ができるようになりました。

- IQライダーじゃないよ。
- サクセス…してない？
- 黒ブチメガネに戻さないのですか？
- サクセス！
- いっしょく？
- 常になにかしら嘆いている。
- 去年の部報でからかってごめんなさい。もうあなたは僕らより立派な大人です。
- 几帳面 (-)

★ 久保 裕道(副務 農) ★

ボロボロの体に鞭を打ち 空回りしがちな心を抑え
気持ちを表面に出さず淡々と そんな日々を続けながら
今日も前へと進んでいく

- 腰にかけたトレーナーがポイント。
- 浜崎あゆみ
- 久保 ism (アニメ好き、根性肌、猪突猛進型) 全開で突っ走れ。
- 頭いい
- パソプロ

★ 関田 愛子(記録、衛生 薬) ★

今年の冬も張るカイロと養命酒でがんばります。

—不思議ちゃん

—馬術部のアイドル的存在だけど耳が遠いっぽい。

—え？

—札幌の天使（！？）

—最近気付いたこと

1、意外と気が強い

2、自分の主張をあまり曲げない

3、上級生に対して容赦がない（てか俺だけか？）

4、でもやっぱり天然型の不思議ちゃん

—凍死しそう

★ 林 宜隆(副将 農) ★

何ごとにも笑顔で楽しく。それがモットーです。

—リン様♡

—新ブラック代表

—馬術部微笑の貴公子林様

—表向きはさわやか二枚目。でも裏では実は

—林会が開催される

—モリゾーを広めようとしているのでは！？

居酒屋たいい

札幌市北区北15条西4丁目 TEL 746-4129

1年目 (上段左から、谷山、大那、下段左から、工藤、住江、池谷)



★ 池谷 雅史(ビデオ・カメラ 水産) ★

システムしぼう

ー今どき系

かるい

ー柴咲コウが好きらしい

ーいけたに様

ーテキトー (こまったちゃん)

ーあまりの My ペースでT氏いわくカス高の鏡とか。

そういう性格好きだねえ

ーチョコ大好き

★ 大那 奈津子(大会関係・部報 文) ★

よく食べます。

ーパンダとブタ好き

ーほっぺ落ちそう

ーブリッコーネ

ーコロコロ落ちる。

ーまだまだ隠している部分がいっぱいありそうです。

少しずつ暴いていくか。

ー次期女帝

ー方向おんちで機械おんち

★ 工藤 俊彦(企画、作業 水産) ★

a i k oと結婚したい

- 「手綱を首にかけて」といったら、自分の首に手綱をかけた。
- アハッ
- カラオケに行くと彼の独壇場だ。
- 水産！？おいしい！！あまりに惜しい人材だ！！
なんて言葉にだまされないで来年一緒に卒部しようね（半分だけ本気）
- 歌うまい
- 世の中をわかっとする気がする

★ 住江 康晴(大会関係・部報 獣医) ★

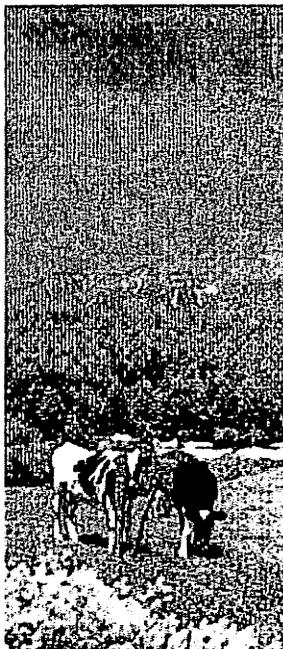
目覚ましをかけずに思いっきり寝られる時、幸せです。

- 八重歯がかわいい住江康晴
- 裏もないけど、表もない子。
- はるるうらら
- ラスト・サムライ
- これからもいろいろあるかもしれんが頑張れよ！
Positive thinking!
- 何かにきづくのがみんなよりワンテンポどころじゃなく遅い
- かわいくて頼りになる

★ 谷山 直美(馬備、薬品 農) ★

I LOVE 北大馬術部

- まつげちゃん2代目
- ナオミよ
- 歌うとすごいが、料理のほうは…
- マイクかってあげるよ
- N22で食べて部室で食べて、馬具庫で眠る
- 今一押しの進入部員。
将来が楽しみです。いろんな意味。
- 小魚食べてます



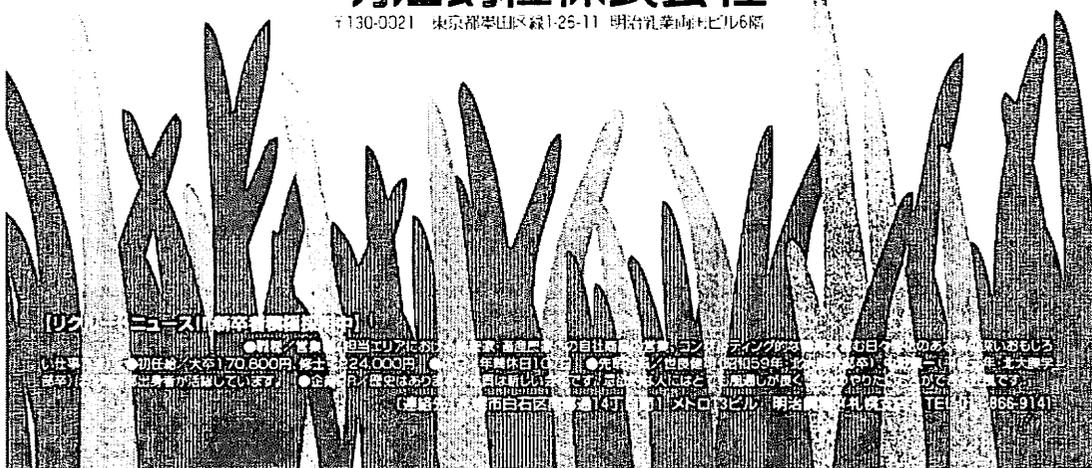
時代の大きな転換期を迎える中、酪農・畜産分野においても

効率だけでなく、安全な生産物の提供、
地球環境への配慮が求められています。

当社は設立以来一貫して、良質の飼料と優れた飼養管理技術の提供を通じて
豊かな食生活の向上に貢献しています。

明治飼糧株式会社

〒130-0021 東京都墨田区森1-26-11 明治乳業南ビル6階





HORSE TREKKING

ライディングエリア



馬場



観光馬場(ひと馬)

馬を知る、馬に親しむ。
初心者から上級者までさまざまな形で乗馬を楽しめる施設と設備が整えられています。
●乗馬コース(ライディングエリア、インドア乗馬場、林間コース) ●ひと馬 ●観光馬場 ●ホニー広場

楽しさ爽快、汗が光るワンダーランド
ノーザンホースパークでは乗馬以外にもいろいろなスポーツや遊びが楽しめます。
●パークゴルフ ●アーチェリー ●バドミントン ●テニス ●球の広場 ●手球広場

テニス



RECREATION

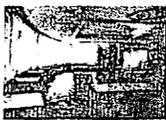


ミニゴルフ



パークゴルフ

TASTE



カフェテリア(レストラン)

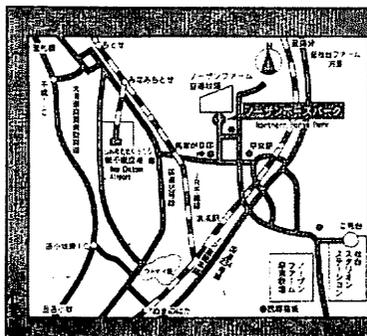


写真



ホース

グルメとショッピング。
コミュニティランド。
馬とのふれあいの後は、グルメとショッピングで旅の思い出づくり。お食事はお好みに合わせて、ごゆっくりお楽しみいただけます。
●カフェテリア ●レストラン ●バーベキュー ●エテリアンヤチャ ●パークショップ ●売店 ●レストラン ●バーベキュー ●エテリアンヤチャ ●パークショップ ●売店



新千歳空港から50分で15分
ノーザンホースパーク

〒059-1361 北海道小樽市興成11-7
TEL:0144-53-2161 FAX:0144-53-2377
開園時間(夏期間) 9:00~19:30
※休園日(12月25日、12月31日)

人と、馬と、
自然が出会う空間。



頑張れ！ 北大馬術部

北大生協も
北大馬術部の活動を
応援しています！

**スポーツ用品のご注文は
ぜひ、北大生協へ！
オーダーマーキングも承ります。**

スポーツ用品・オーダーマーキングのお申込は
北大生協購買部北部店スポーツコーナーまで
TEL.747-2181 北大内線5424



北海道大学生生活協同組合

〒060-0808 札幌市北区北8条西7丁目

代表電話746-6218 FAX746-2341 北大内線 3285

〈広告主への感謝の言葉〉

この度、平成16年度北海道大学馬術部部報発行に際し絶大なるご援助を頂きました諸社・諸店に対し、厚く御礼申し上げますとともに諸社・諸店のご繁栄を心より祈り、ここに深く感謝致します。

編集後記

今年の部報はどうでしたでしょうか。原稿完成が遅く、延ばしに延ばした最終〆切までに出さなかった部員にはみんなにピザをおごってもらうという強行手段もりましたが、みなさんのおかげでなんとか4月中に発行することができました。ありがとうございました。馬術部の現在の状況が少しでも分かる部報になっていれば幸いです。

部報担当 大那 奈津子
住江 康晴

北海道大学馬術部部報

部 報 第50号

平成十六年四月 発行

編集者 北海道大学馬術部部報担当

大那 奈津子
住江 康晴

印刷所 北大印刷

〒〇六〇・〇八〇八

札幌市北区北8条八丁目

クラーク会館1階

TEL (〇一)七四七・八八八六

FAX (〇一)七五七・七九七一

発行所 北海道大学馬術部

〒〇〇一・〇〇三三

札幌市北区北23条十二丁目

TEL (〇一)七三七・一六二六

FAX (〇一)七三七・一六二六

